

5. 地域公共交通の利用実態と町民の移動ニーズ

5-1 コミュニティバスの利用状況

(1) 令和3(2021)年11月の利用状況 (OD 調査)

① 調査概要

項目	内容
調査日	令和3(2021)年11月8日(月)~12日(金)
対象とする便	全ての便
調査内容・調査方式	<ul style="list-style-type: none"> ・調査員がバスに乗り込み、利用者がどこで乗って(O)どこで降りたか(D)を目視でカウントのうえ、下記の調査票に基づき、ヒアリングを実施する ・利用の多いスーパーおくやまの停留所において、ヒアリングを実施する。

コミュニティバス利用者の方へのアンケート調査		川西町コミュニティバス利用者アンケートシート (対象：スーパーおくやま前バス停におけるバス待ち客)															
◆バスのご利用についてお教えてください。																	
質問1 今から、このバスをどこで乗降しますか。【数字を記入】																	
●乗車停留所⇒		●降車停留所⇒															
※停留所一覧																	
1. 保田公民館前	2. 唐院西口	3. 唐院北口	4. 南吐田														
5. 北吐田公民館前	6. 上吐田南口	7. ぬくもりの郷	8. 西城公民館前														
9. 結崎団地北口	10. 東方東口	11. 東人権センター前	12. 東方西口														
13. 東城出荷場前	14. 京奈和自動車道高架下	15. スーパーおくやま前	16. 結崎駅南口														
17. 結崎駅北口	18. 川西診療所前	19. 川西小学校東口	20. 川西町役場前														
21. 井戸	22. 西人権センター前	23. 川西郵便局前	24. 唐院東口														
25. 唐院南口	26. 唐院住宅前	27. ふれあいセンター前															
質問2 今日どちらへお出かけをしました(します)か。【Oはいくつでも・一部直接記入】																	
1. 町内のスーパー	→→→ (具体的に:)																
2. 町外のスーパー	→→→ (具体的に:)																
3. 町内の医院	→→→ (具体的に:)																
4. 町外の医院	→→→ (具体的に:)																
5. 町役場																	
6. その他	→→→ (具体的に:)																
質問3 今週何回目の利用ですか?【Oは1つ】																	
1. 1回目	2. 2回目	3. 3回目	4. 4回目														
5. 5回目																	
◆あなたご自身のことについてお教えてください。																	
質問4 あなたの性別・年齢等をお教えてください。【それぞれOは1つ】																	
●性別⇒ 1. 男性 2. 女性																	
●年齢⇒ 1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代																	
5. 50代 6. 60代 7. 70代 8. 80歳以上																	
●運転免許⇒ 1. 持っている 2. 取得したことがない 3. 返納済み																	
◆質問5 日頃の移動で困っていることや、コミュニティバスに求めることがあれば教えてください。																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>質問</th> <th>回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. スーパーおくやまの利用頻度 (Oは1つ)</td> <td>①週に2回以上 ②週に1回 ③月に2, 3回 ④月に1回未満</td> </tr> <tr> <td>2. スーパーおくやまを利用する曜日 (Oはいくつでも)</td> <td>①月曜日 ②火曜日 ③水曜日 ④木曜日 ⑤金曜日 ⑥土日 ⑦特に曜日は決めていない</td> </tr> <tr> <td>3. (「2. で⑥土日」を選んだ方のみ) 利用する際の交通手段は? (Oはいくつでも)</td> <td>①徒歩 ②自転車 ③自動車(自分で運転) ④自動車(送迎)</td> </tr> <tr> <td>4. スーパーおくやまが「コノミヤ」系列になって以降、利用頻度に変わりはありますか? (Oは1つ)</td> <td>①特に変わりはない ②利用頻度が増えた ③利用頻度が減った ④系列が変わったことを知らなかった</td> </tr> <tr> <td>5. (「4. で③減った」を選んだ方のみ) その理由は?</td> <td>(自由回答)</td> </tr> <tr> <td>6. コミバスでスーパーを利用するにあたっての要望 (Oはいくつでも)</td> <td>①運行本数を増やす ⇒希望する時間帯:() ②乗り降りが楽になる対応(乗り降りの高さを低くする、奥降の補助がある等) ③待ち時間が短縮にならないようなお店やサービス(喫茶店、ゲームセンター、談話室など) ④その他()</td> </tr> </tbody> </table>				質問	回答	1. スーパーおくやまの利用頻度 (Oは1つ)	①週に2回以上 ②週に1回 ③月に2, 3回 ④月に1回未満	2. スーパーおくやまを利用する曜日 (Oはいくつでも)	①月曜日 ②火曜日 ③水曜日 ④木曜日 ⑤金曜日 ⑥土日 ⑦特に曜日は決めていない	3. (「2. で⑥土日」を選んだ方のみ) 利用する際の交通手段は? (Oはいくつでも)	①徒歩 ②自転車 ③自動車(自分で運転) ④自動車(送迎)	4. スーパーおくやまが「コノミヤ」系列になって以降、利用頻度に変わりはありますか? (Oは1つ)	①特に変わりはない ②利用頻度が増えた ③利用頻度が減った ④系列が変わったことを知らなかった	5. (「4. で③減った」を選んだ方のみ) その理由は?	(自由回答)	6. コミバスでスーパーを利用するにあたっての要望 (Oはいくつでも)	①運行本数を増やす ⇒希望する時間帯:() ②乗り降りが楽になる対応(乗り降りの高さを低くする、奥降の補助がある等) ③待ち時間が短縮にならないようなお店やサービス(喫茶店、ゲームセンター、談話室など) ④その他()
質問	回答																
1. スーパーおくやまの利用頻度 (Oは1つ)	①週に2回以上 ②週に1回 ③月に2, 3回 ④月に1回未満																
2. スーパーおくやまを利用する曜日 (Oはいくつでも)	①月曜日 ②火曜日 ③水曜日 ④木曜日 ⑤金曜日 ⑥土日 ⑦特に曜日は決めていない																
3. (「2. で⑥土日」を選んだ方のみ) 利用する際の交通手段は? (Oはいくつでも)	①徒歩 ②自転車 ③自動車(自分で運転) ④自動車(送迎)																
4. スーパーおくやまが「コノミヤ」系列になって以降、利用頻度に変わりはありますか? (Oは1つ)	①特に変わりはない ②利用頻度が増えた ③利用頻度が減った ④系列が変わったことを知らなかった																
5. (「4. で③減った」を選んだ方のみ) その理由は?	(自由回答)																
6. コミバスでスーパーを利用するにあたっての要望 (Oはいくつでも)	①運行本数を増やす ⇒希望する時間帯:() ②乗り降りが楽になる対応(乗り降りの高さを低くする、奥降の補助がある等) ③待ち時間が短縮にならないようなお店やサービス(喫茶店、ゲームセンター、談話室など) ④その他()																

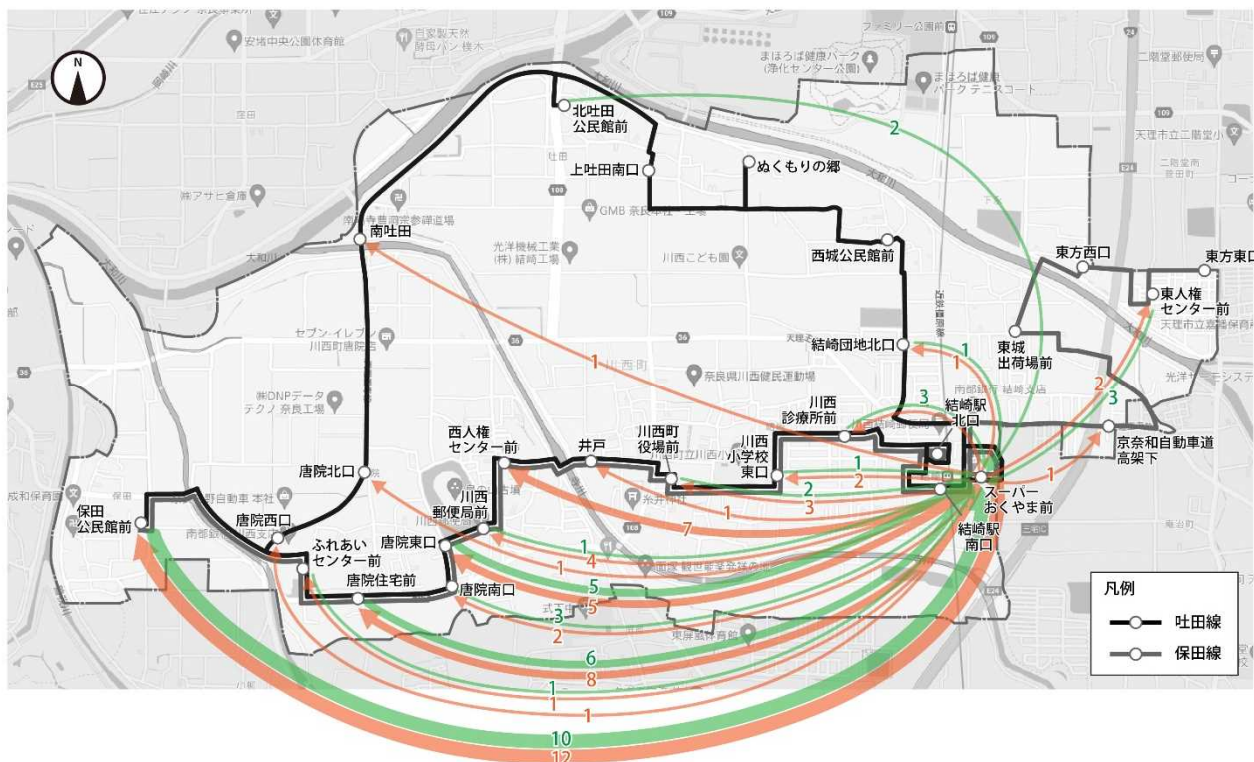
② 調査結果概要

(1) 利用者 OD

【「スーパーおくやま前」の乗降】

- ・全乗車の39%、全降車の28%を占めています。
- ・このうち、結崎駅～保田公民館前（保田線）が86%を占め、保田線（京奈和高架下～東方東口）、吐田線の利用者は非常に少なくなっています。
- ・保田公民館前の利用者が最も多く（乗車10、降車12）、次いで、唐院住宅前（乗車6、降車8）、唐院東口（乗車5、降車5）となっています。

《スーパーおくやま前発着のOD（11/8～11/12計）》



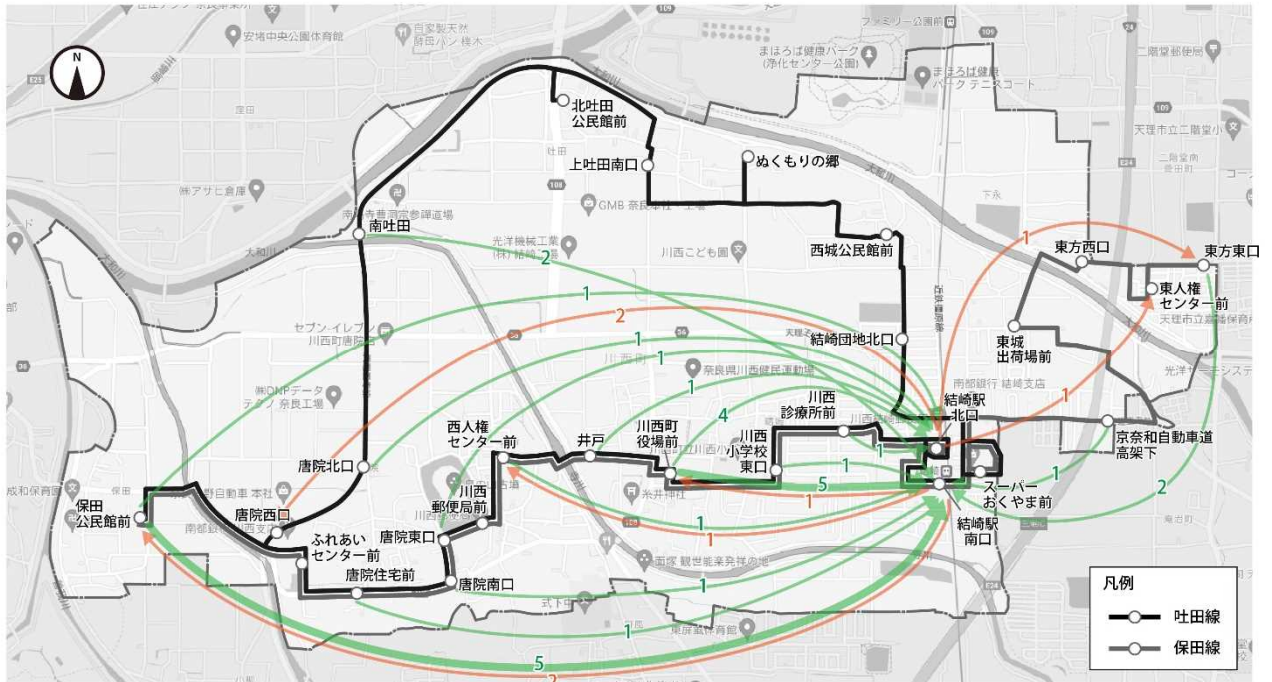
スーパーおくやま前

	乗車	降車	乗降計	%
保田線（結崎駅南口～保田公民館前）	47	32	79	86%
保田線（京奈和高架下～東方東口）	3	3	6	7%
吐田線（唐院西口～結崎団地北口）	4	3	7	8%
計	54	38	92	100%

【「結崎駅北口・結崎駅南口」の乗降】

- 全乗車の5%、全降車の21%を占めています。
- このうち、結崎駅～保田公民館前（保田線）が72%を占め、保田線（京奈和高架下～東方東口）、吐田線の利用者は少なくなっています。
- 川西町役場前の利用者が最も多く（乗車9、降車1）、次いで、保田公民館前（乗車5、降車2）となっています。

《結崎駅北口・結崎駅南口発着のOD（11/8～11/12計）》



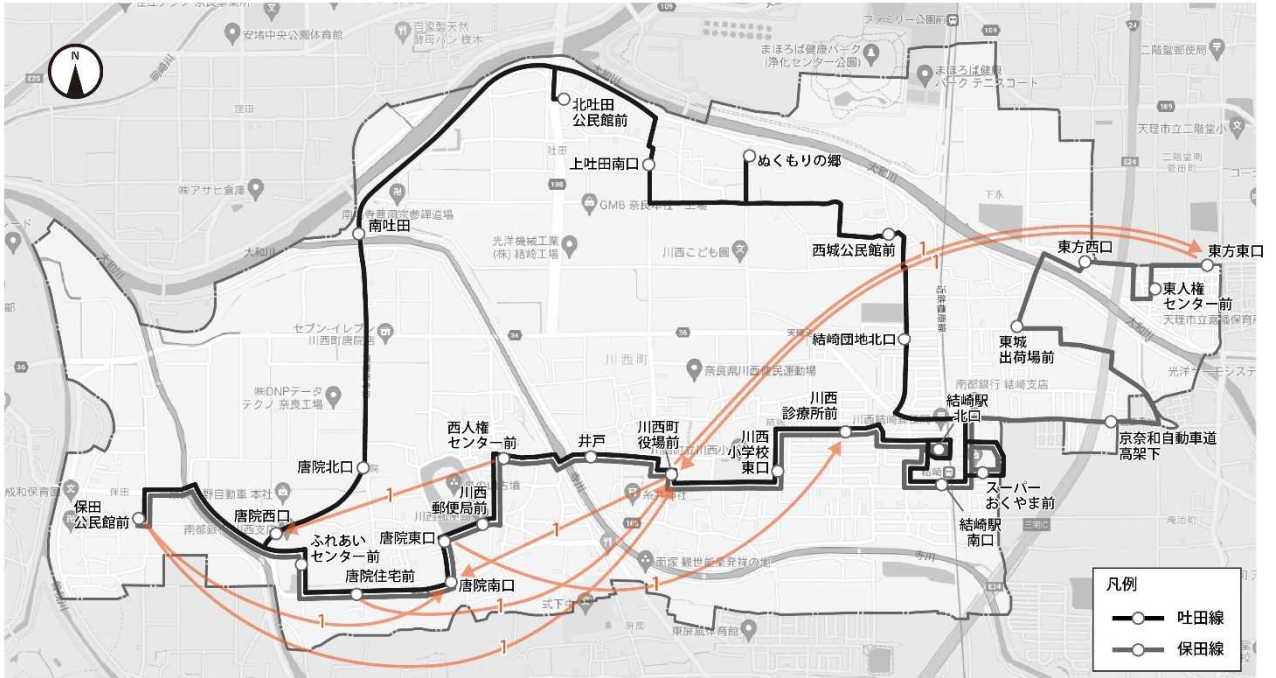
結崎駅南口＋結崎駅北口

	乗車	降車	乗降計	%
保田線（結崎駅南口～保田公民館前）	4	22	26	72%
保田線（京奈和高架下～東方東口）	2	3	5	14%
吐田線（唐院西口～結崎団地北口）	1	4	5	14%
計	7	29	36	100%

【その他の停留所の乗降】

- 川西町役場前を中心に利用が見られますが、非常に少ない状況です。

《「スーパーおくやま」「結崎駅南口」「結崎駅北口」以外発着のOD (11/8~11/12 計)》

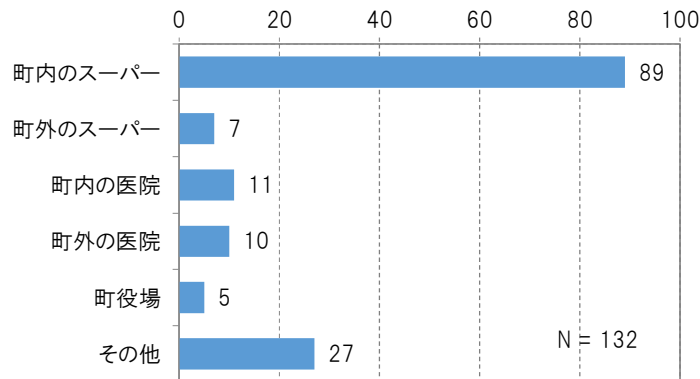


11/8~11/12 (5日計)

	降車	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	乗車計	降車計			
乗車		保田公民館前	唐院西口	唐院北口	南吐田	北吐田公民館前	上吐田南口	ぬくもりの郷	西城公民館前	結崎団地北口	東方東口	東人権センター前	東方西口	東城出荷場前	京奈和自動車道高架下	スーパーおくやま前	結崎駅南口	結崎駅北口	川西診療所前	川西小学校東口	川西町役場前	井戸	西人権センター前	川西郵便局前	唐院東口	唐院南口	唐院住宅前	ふれあいセンター前					
1 保田公民館前																10	5	1											18	15			
2 唐院西口																														3			
3 唐院北口																														2	1		
4 南吐田																														2	1		
5 北吐田公民館前																														2			
6 上吐田南口																																	
7 ぬくもりの郷																																	
8 西城公民館前																																	
9 結崎団地北口																																	
10 東方東口																																	
11 東人権センター前																																	
12 東方西口																																	
13 東城出荷場前																																	
14 京奈和自動車道高架下																																	
15 スーパーおくやま前																																	
16 結崎駅南口																																	
17 結崎駅北口																																	
18 川西診療所前																																	
19 川西小学校東口																																	
20 川西町役場前																																	
21 井戸																																	
22 西人権センター前																																	
23 川西郵便局前																																	
24 唐院東口																																	
25 唐院南口																																	
26 唐院住宅前																																	
27 ふれあいセンター前																																	
降車計		15	3	1	1					1	2	3			1	38	19	10	3	2	7	1	8	4	5	4	8	1	137	137			

(2) お出かけ先

- ・町内のスーパー（おくやま）と回答した人が約 67%で最も多く、圧倒的多数を占めています。



■町外のスーパー

	回答数
天理市ビック	6
かしはら、コンビニ	1

N = 7

■町外の医院

	回答数
国保中央病院	5
郡山の歯科(ふくもと)	1
八木西口	1
天理よろず病院	1
天理市高井病院	1
郡山	1

N = 10

■その他

	回答数
銀行、郵便局等	5
天理市方面	5
大和郡山市方面	4
橿原市方面	3
東京方面	2
奈良市方面	1
田原本町方面	1
その他	5

N = 26

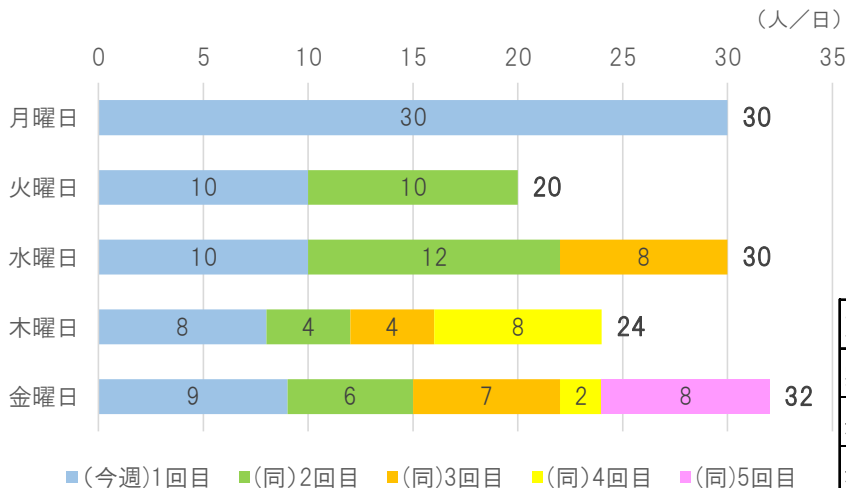
■町内の医院

	回答数
川西診療所	6
たつみ歯科医院	2
みやもと整骨院	2

N = 10

(3) 曜日別利用状況（乗車人数）

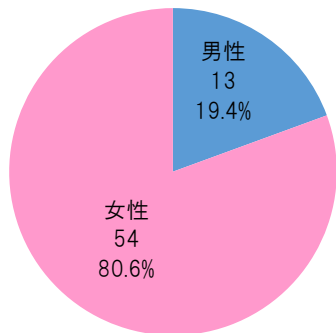
- ・延べ乗車人数は 136 人ですが、複数回利用している人が多く、実乗車人数は 67 人となっています。往復で利用される方も多いため、実利用者数は約 30 人程度と考えられ、毎日利用する方もいます。



延べ乗車人数	136
実乗車人数	67
週2日以上利用	34
週3日以上利用	19

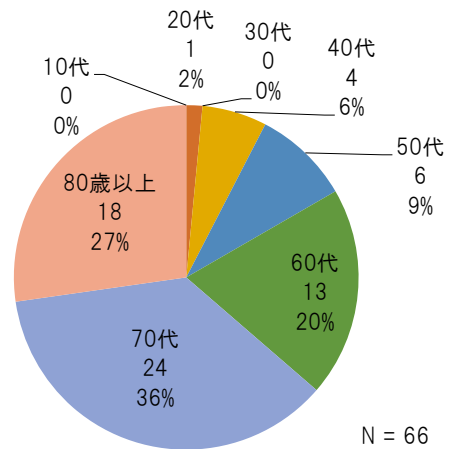
(4) 属性（実乗車人数ベース）

①性別



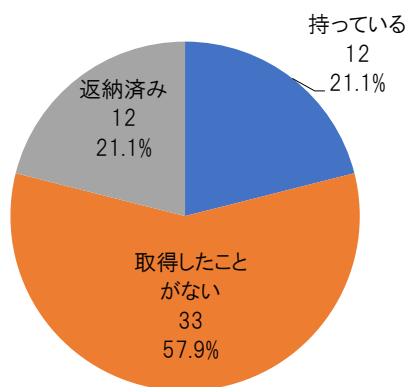
N = 67

②年齢層【参考：聴取調査非実施。調査員にて判断】



N = 66

③運転免許の保有状況



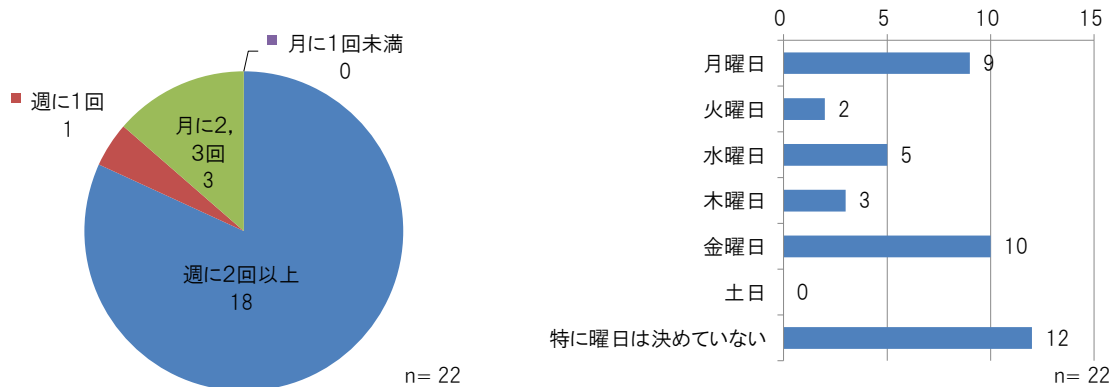
N = 57

(5) コミュニティバスに対する自由意見

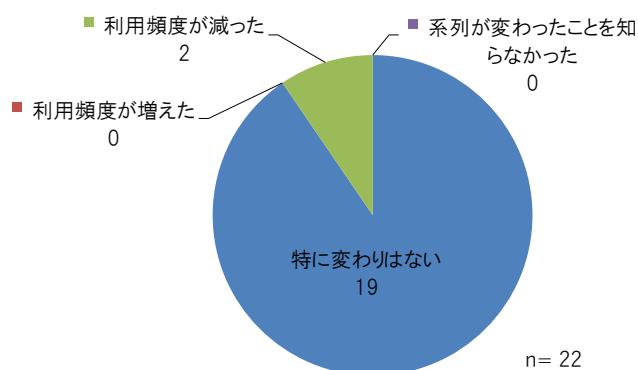
助かっている・重宝している・満足している・ありがたい・辞めないでほしい	14
運行便数を増やしてほしい	14
土日祝日に運行してほしい	6
運行ルートの変更や延伸(JR駅方面)	3
最終は役所どまりではなく保田公民館まで	2
朝晩の運行時間帯を伸ばしてほしい	2
3連休時に1日でよいので運行してほしい	2
バス停を増やしてほしい	2
押し車を乗せられるようにしてほしい	1
その他 (社内飲食不愉快、毎日運動がてらおくやまに行く、近所付き合いがいい、月3、4回利用、町職員で利用等)	10

【参考：スーパーおくやまにおけるバス利用者への聴き取り調査】

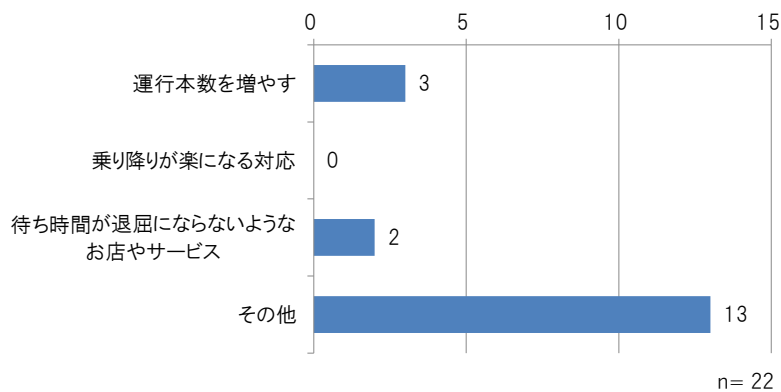
(1) おくやまの利用頻度・利用曜日



(2) おくやまがコノミヤ系列に変わった後の利用頻度



(3) コミュニティバスでおくやまを利用するにあたっての要望



(その他意見)

【バスに関する意見】

- ・保田の停留所を増やして欲しい。近隣の方も皆要望している。集落の端と端に作って欲しい。
- ・おくやま前の停留所の椅子を新しくして欲しい。保田の停留所を増やして欲しい。
- ・土曜日、日曜日でも走って欲しい
- ・土曜日か日曜日、どちらかでも走って欲しい。
- ・土曜日、日曜日でも走らせて欲しい。祝日も運行して欲しい。

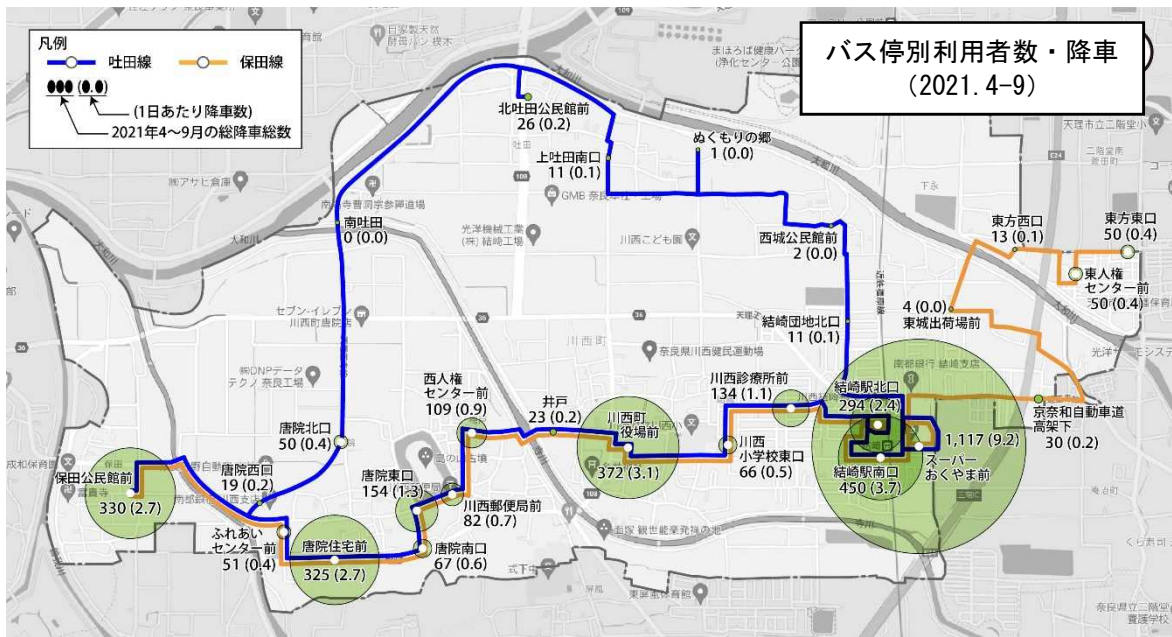
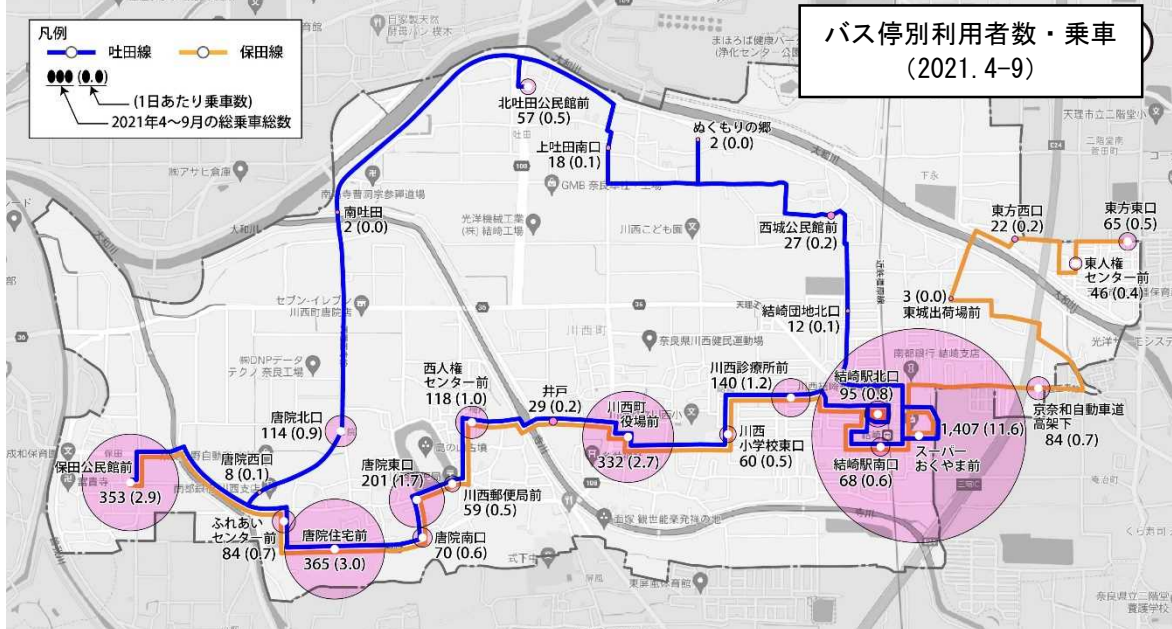
【その他】

- ・スーパー内の空いているスペースに休憩出来るイスなどを用意して欲しい！

(2) 令和3(2021)年度上半期(4月~9月)の利用状況

① バス停別乗車数(令和3(2021)年4~9月)

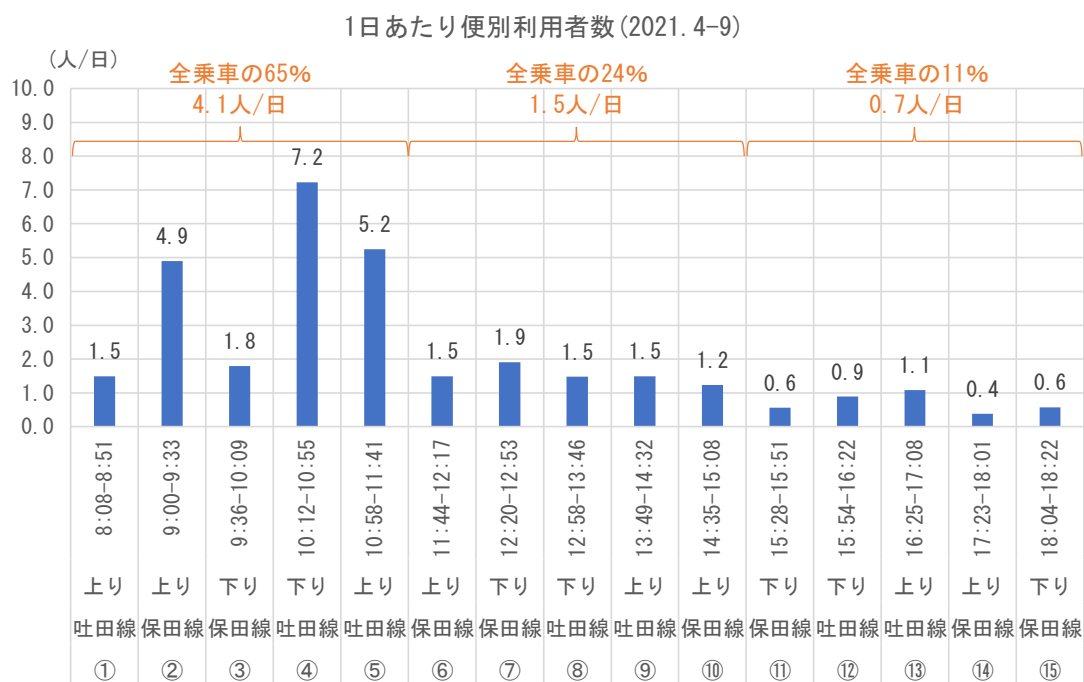
- ・バス停別では、「スーパーおくやま前」が乗車1,407人、降車1,117人と最も多く、全体の3~4割(乗車37%、降車29%)を占めています。
- ・これに次いで、唐院住宅前(乗365、降325)、保田公民館前(乗353、降330)、川西町役場前(乗332、降372)となっており、町南部を運行する保田線の停留所での乗降が多数を占めています。
- ・一方、町北部を運行する吐田線の停留所での乗降は非常に少なく、多くの停留所で1日あたりの利用者数が1.0人を下回っています。
- ・結崎駅南口(乗68、降450)、結崎駅北口(乗95、降294)は、降車が圧倒的に多くなっており、行き(自宅等から駅まで)はコミュニティバスを使うが、帰りはコミュニティバス以外の交通手段を使っていると考えられます。



資料：川西町

② 便別(時間帯別)乗車数 (令和3(2021)年4~9月)

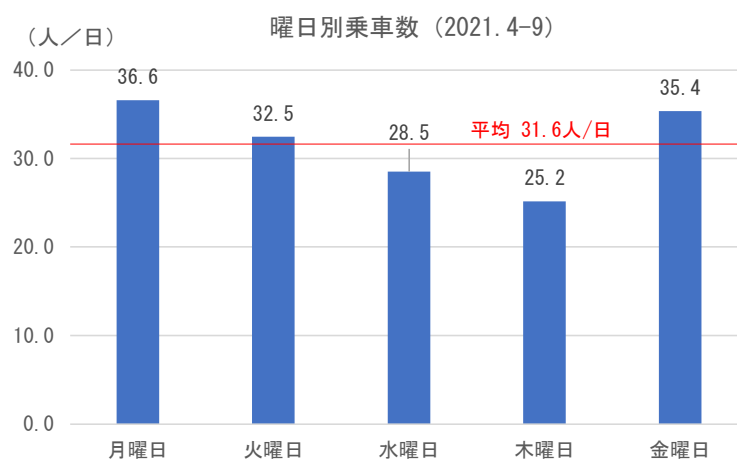
- ・便別では、主に午前中に運行される①~⑤便の利用者が全体の65%を占め、1便あたりの乗車数は4.1人となっています。
- ・午後以降に運行される便については乗車数が少なく、⑥~⑩便は1.5人/便、⑪~⑮便は0.7人/便と1便当たり平均2人を下回っています。



資料：川西町

③ 曜日別乗車数 (令和3(2021)年4~9月)

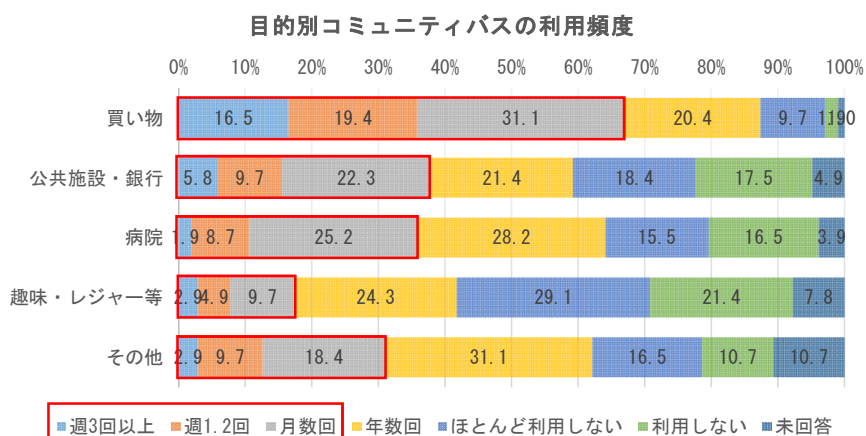
- ・利用目的として買物が多く、週末はコミュニティバスが運行されていないため、曜日別では、月曜日・金曜日の利用が多く、木曜日が最も少なくなっています。



資料：川西町

④ コミュニティバスの利用目的（減額利用申請者アンケート調査（R3.3実施）より）

- ・減額利用申請者アンケートによると、買い物での利用頻度が最も多く、月数回以上利用するが6割を超えています。これに対して、公共施設・銀行や病院については3～4割程度、趣味・レジャーについては2割程度となっています。
- ・減額利用申請を行ったものの「利用しない」「ほとんど利用しない」と回答した人が約30名程度おり、実際にコミュニティバスを利用している人は約100名程度と想定されます。

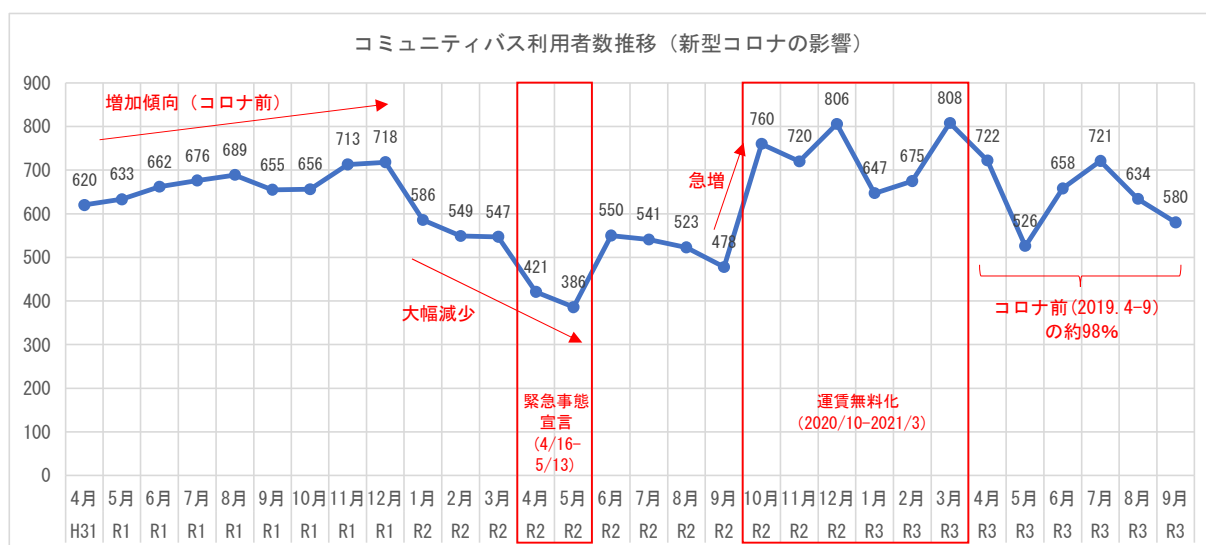


※アンケート全回答者 134 名中、すべての目的について「ほとんど利用しない」「利用しない」と回答した 31 名を除いた集計。(N=103)

資料：減額利用申請者アンケート調査（R3.3実施）

(3) 新型コロナウイルス感染症の影響（令和元(2019)年度～令和3(2021)年度の月別乗車数）

- ・新型コロナウイルス感染症（以下、「新型コロナ」）の拡大前まで（令和元(2019)年12月頃まで）は、毎月が増加傾向にありましたが、新型コロナ拡大以降、大幅に減少し、緊急事態宣言時（令和2(2020)年4～5月）は前年同月比3～4割減となりました。
- ・その後利用者数はやや回復し、運賃無料化した令和2(2020)年10月～令和3(2021)年3月は、コロナ前の令和元(2019)年同月を上回りました。
- ・有料に戻した令和3(2021)年4～9月は、無料期間よりも減少したものの、コロナ前の令和元(2019)年4～9月の約98%程度に回復しています。



資料：川西町

(4) 利用状況のまとめ

- ・「スーパーおくやま」への買い物のための移動手段として利用されている割合が高く、その多くが「結崎駅～保田公民館間（保田線）」の利用で占められています。
- ・一方で、「京奈和自動車道高架下～東方東口（保田線）」「結崎団地北口～唐院西口（吐田線）」の利用は非常に少なくなっています。
- ・限られた利用者（数十名程度）によるヘビーユース（繰返し利用）が利用の多くを占めていると考えられます。
- ・利用の多くが午前中の便で占められ、午後の利用は非常に少なくなっています。
- ・利用者の多くが女性で、運転免許を持たないため、生活のための移動手段としてコミュニティバスが必要不可欠との声があります。利用者からは、増便、運行時間帯の拡大、土日祝の運行を望む声があります。

5-2 町民アンケート

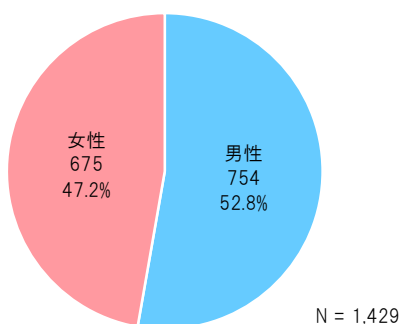
(1) 実施概要

項目	内容
対象者	高校生以上の町民 2,000 人を対象に各戸につき 2 枚配布
方法	郵送配布・郵送回収
調査期間	令和 3 (2021) 年 10 月 26 日発送 11 月 15 日締切
有効配布数	1,951 通 (49 通が住所不定のため返送)
有効回収数	951 通 (1,461 票)
回答率	48.7%
主な調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ・個人属性 ・ふだんの外出状況 ・自動車による送迎状況 ・コミュニティバスの利用状況 ・地域公共交通に求めるもの ・生活スタイル (新型コロナの影響、スマートフォンの利用等)

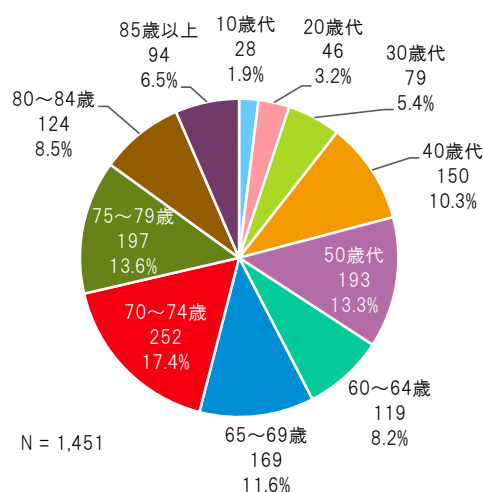
(2) 結果概要 (回答項目別)

① 回答者概要

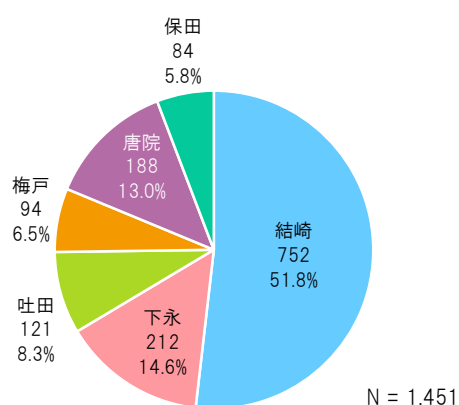
(1) 性別



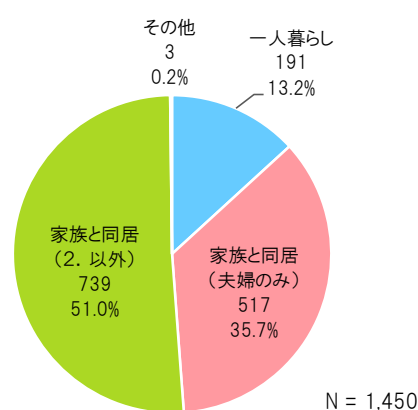
(2) 年齢



(3) 居住地区

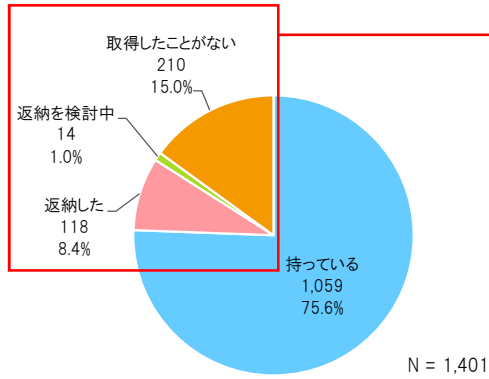


(4) 世帯構成



(5) 運転免許の保有状況

・免許非保有者（予定を含む）の約6割が75歳以上の後期高齢者となっています。

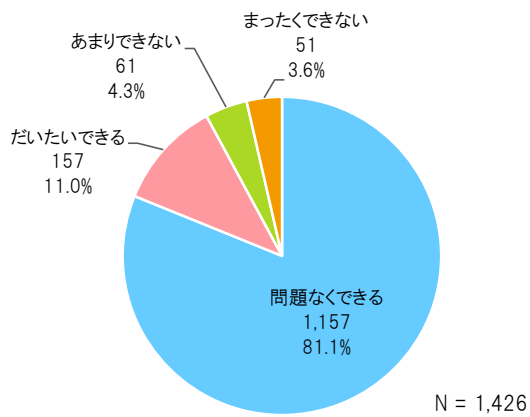


	10～64歳	65～74歳	75歳以上	計
返納した	7	31	80	118
返納を検討中	2	6	6	14
取得したことがない	49	45	115	209
計	58	82	201	341

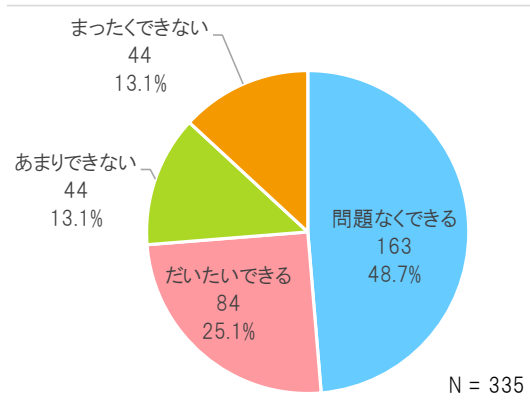
(6) 公共交通を使って1人で外出可能か

・「あまりできない」「まったくできない」と回答した人は、全回答者では10%未満ですが、免許非保有者（予定を含む）に限れば、26%と高くなっています。

(全回答者)



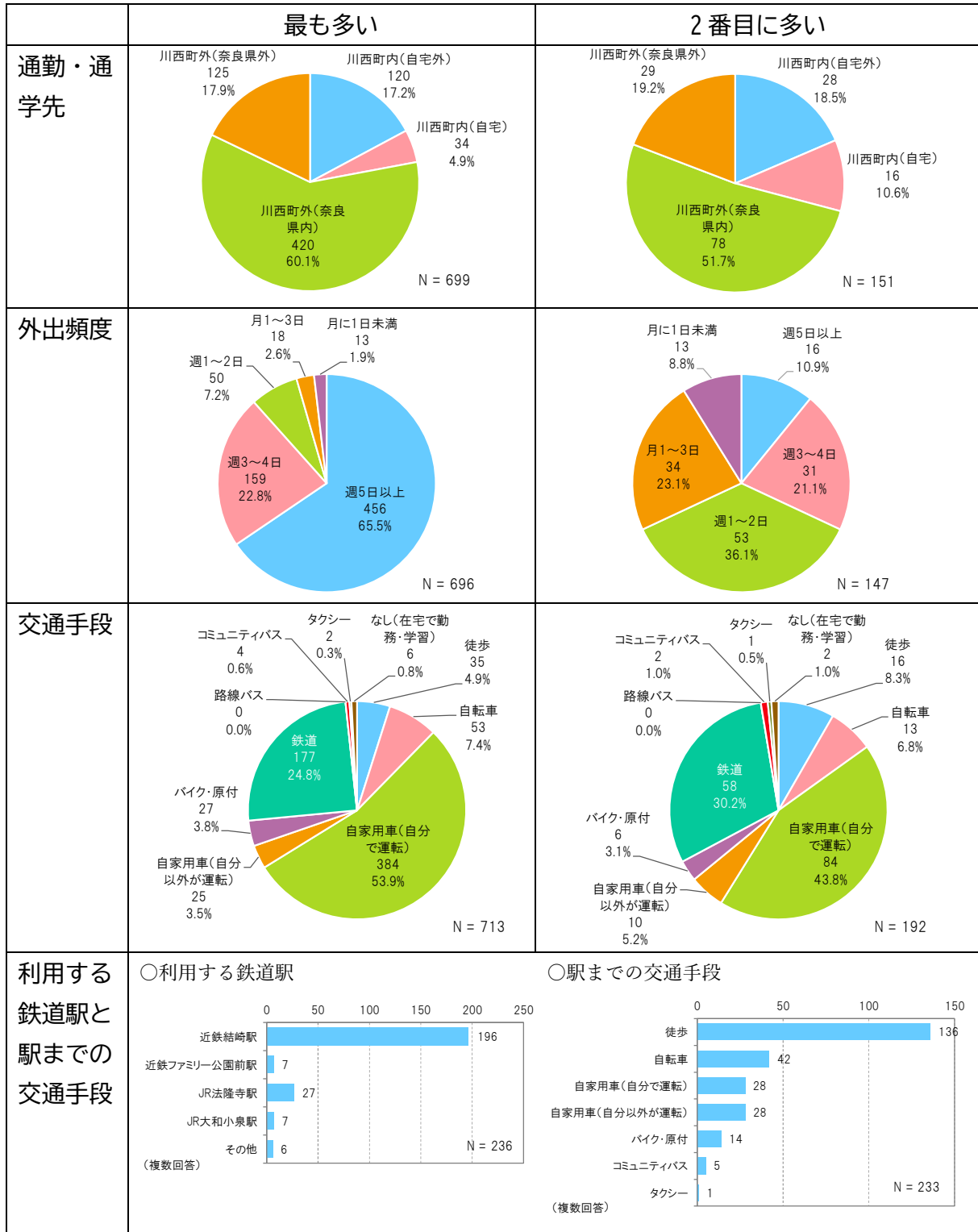
(免許非保有者（予定を含む）のみ)



② ふだんの外出について

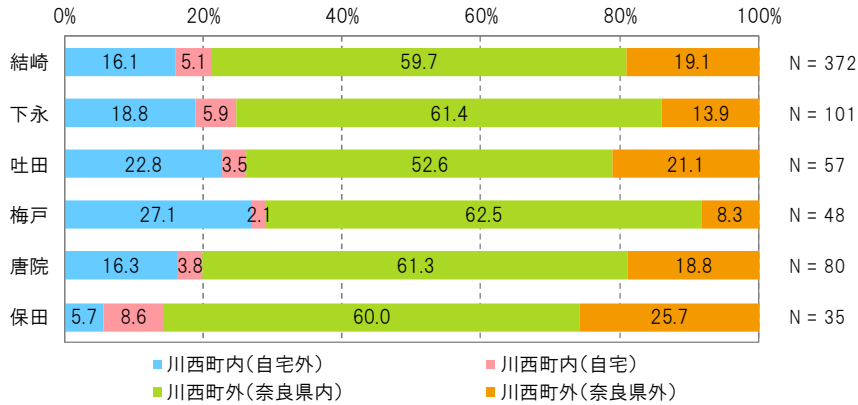
(1) 通勤・通学

- ・最も多い通勤・通学先、2番目に多い通勤・通学先ともに、川西町外（奈良県内）が半数を超えています。
- ・交通手段は自家用車が最も多く、次いで鉄道が多くなっています。鉄道利用者が利用する鉄道駅としては、結崎駅が最も多く、次いでJR法隆寺駅となっています。

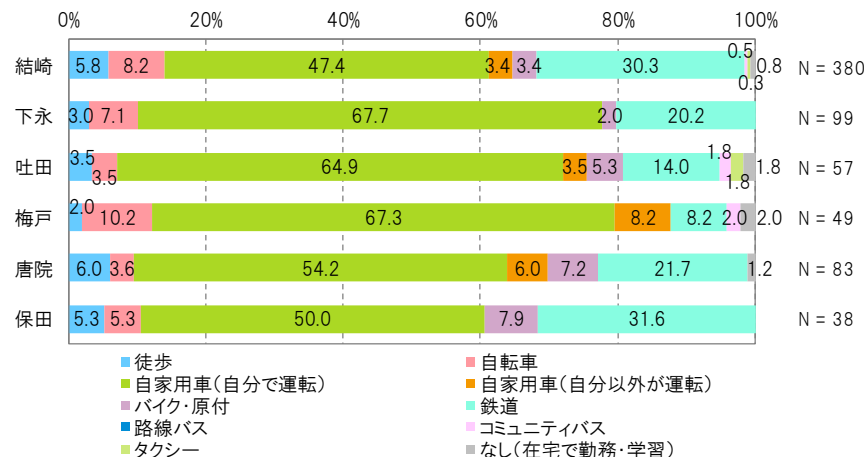


【地域別集計】

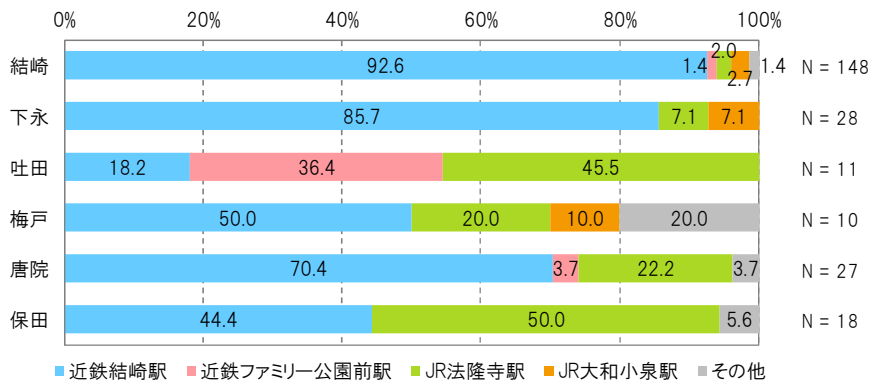
(通勤・通学先 (最も多い))



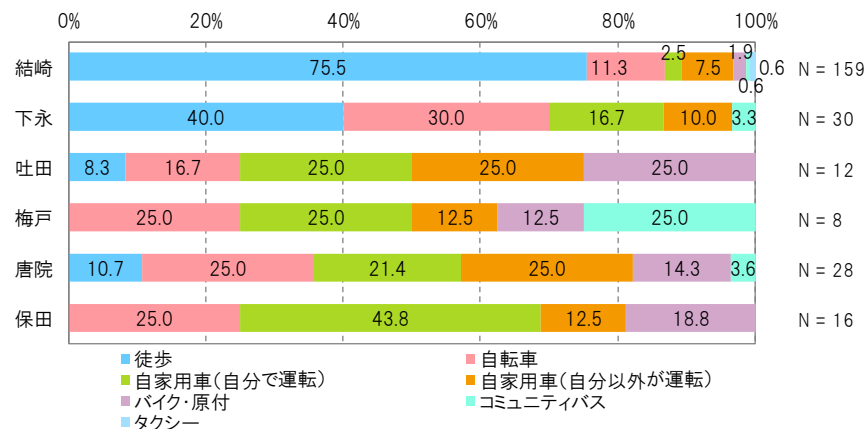
(通勤・通学の交通手段 (最も多い通勤先))



(通勤・通学時に利用する鉄道駅)

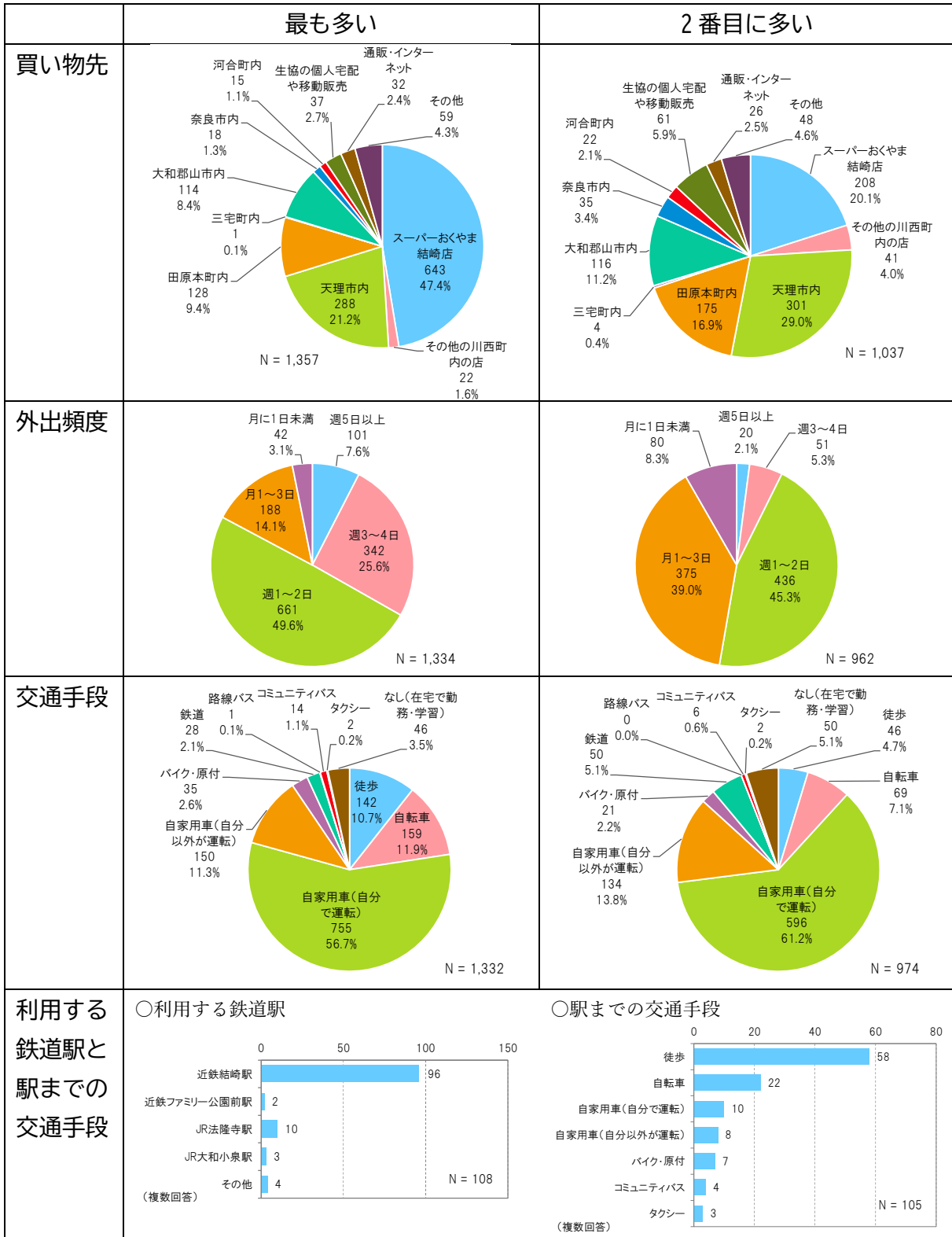


(通勤・通学時に利用する駅までの交通手段)



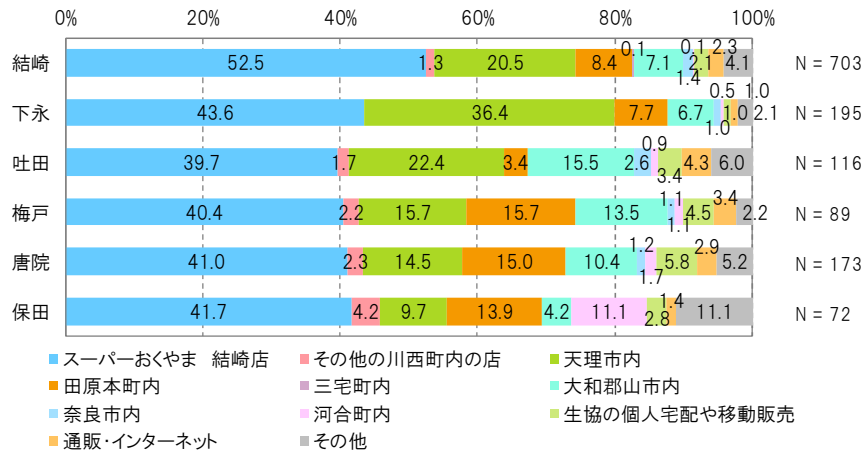
(2) 買い物

- ・最も多い買い物先については、スーパーおくやまが最も多く約5割を占めています。2番目に多い買い物先としては、天理市内が最も多くなっています。
- ・利用頻度は、週1～2回が約4～5割で最も多くなっています。最も多い買い物先については、週3～4回の利用も多く、約1/4を占めます。
- ・交通手段は自家用車が最も多く、自分が運転・自分以外が運転をあわせると6割を超えています。

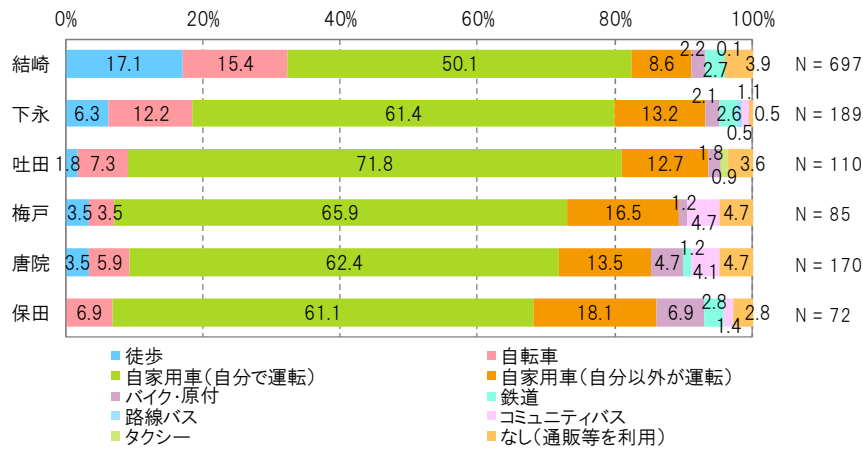


【地域別集計】

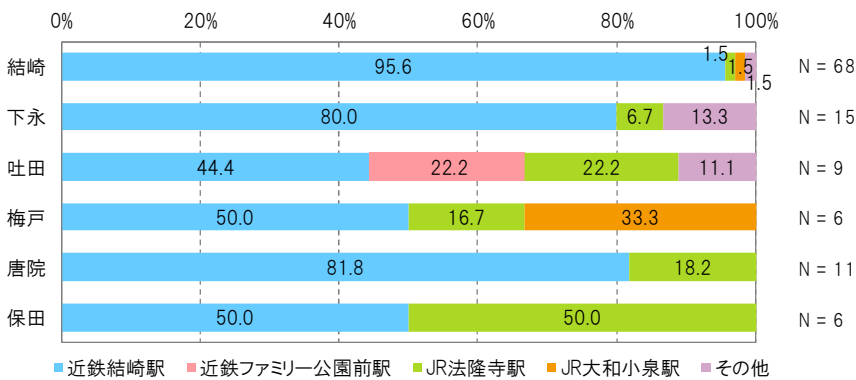
(買い物先 (最も多い))



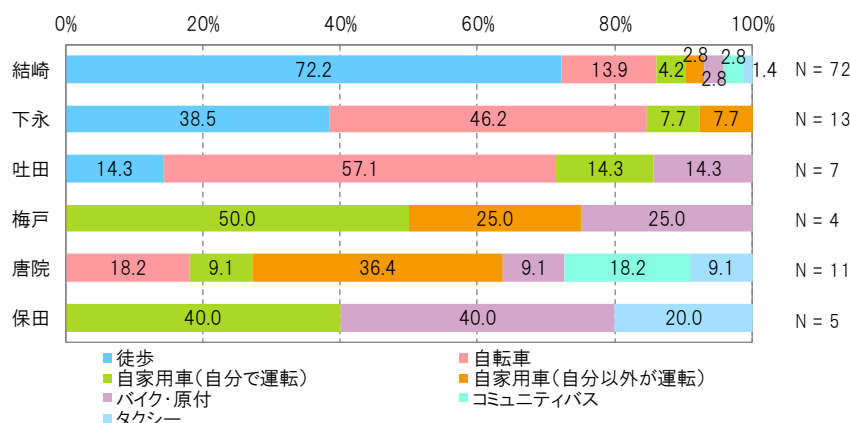
(買い物時の交通手段 (最も多い買い物先))



(買い物時に利用する鉄道駅)



(買い物時に利用する駅までの交通手段)



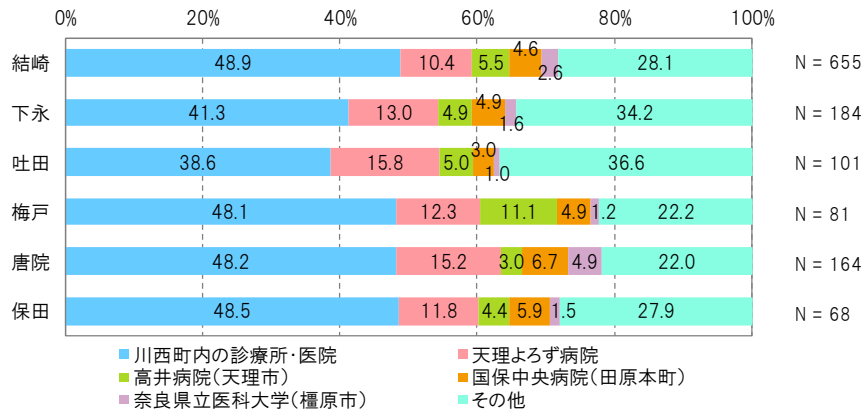
(3) 通院

- ・最も多い通院先については、川西町内の診療所・医院、これに次いで天理よろず病院となっています。2番目に多い通院先については、天理よろず病院が多くなっています。
- ・利用頻度は月に1日未満が最も多く6割以上を占めます。
- ・交通手段は自家用車が最も多く、自分が運転・自分以外が運転をあわせると6割を超えています。

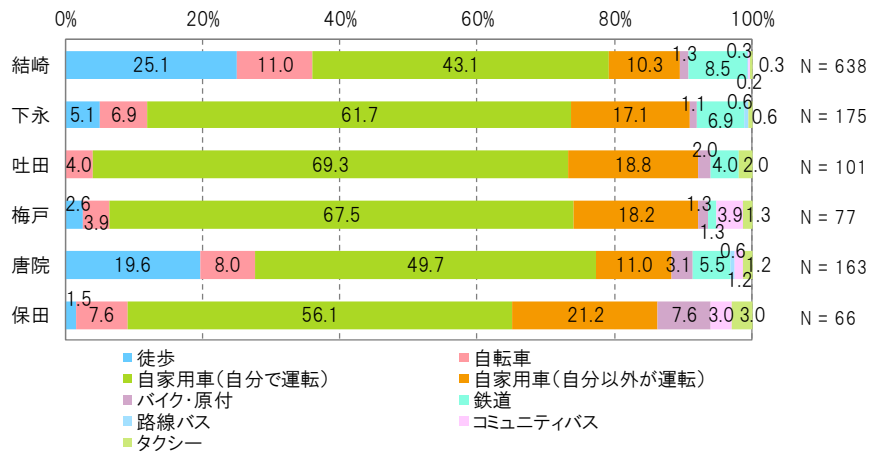
	最も多い	2番目に多い
通院先		
外出頻度		
交通手段		
利用する鉄道駅と駅までの交通手段	<p>○利用する鉄道駅</p>	<p>○駅までの交通手段</p>

【地域別集計】

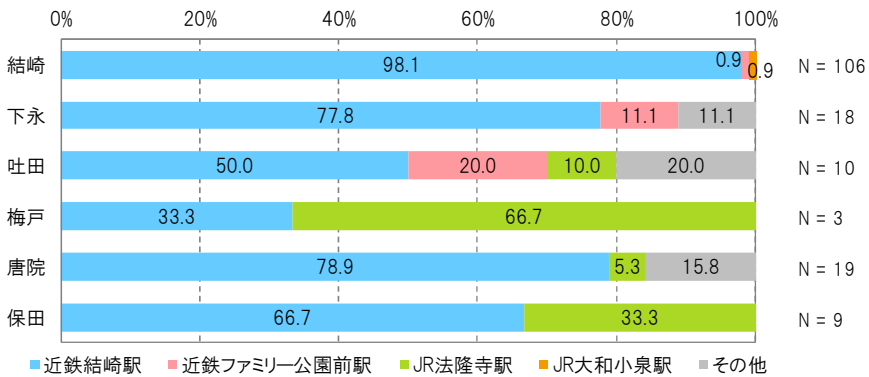
(通院先 (最も多い))



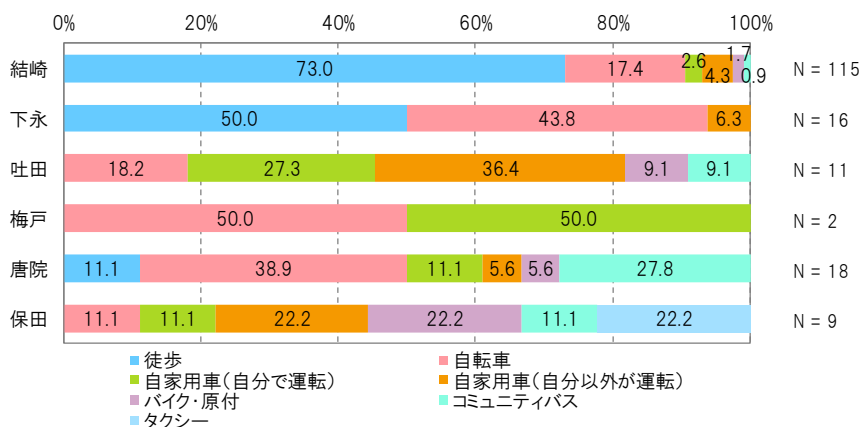
(通院時の交通手段 (最も多い通院先))



(通院時に利用する鉄道駅)



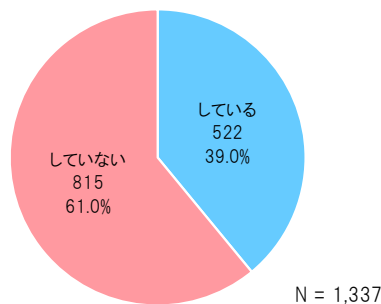
(通院時に利用する駅までの交通手段)



③ 自動車による送迎について

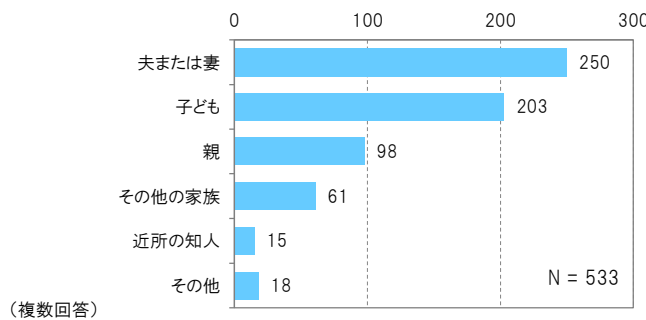
- ・約4割が日常的に家族や知り合いを送迎していると回答しており、地域としては吐田地域でその割合が高くなっています。
- ・送迎の目的としては買い物が最も多く、次いで通院となっています。
- ・送迎している人の約3割が、「公共交通手段がないため」、「送迎対象者が1人で外出することが難しいため」と回答しています。
- ・送迎している人の約7割が、送迎が自らの生活に与える影響は特にないと回答しています。

(1) 家族や知り合いの送迎の有無

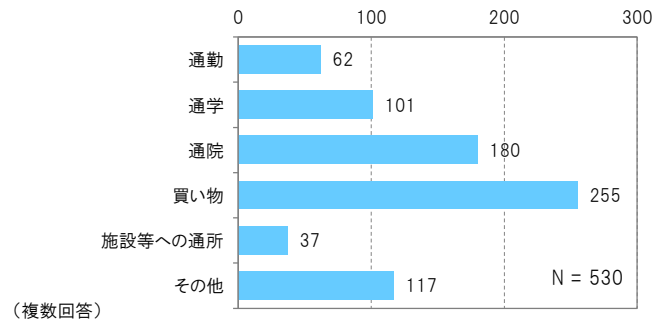


	結崎	下永	吐田	梅戸	唐院	保田
している	36.7%	41.4%	46.4%	41.9%	39.3%	41.2%
していない	63.3%	58.6%	53.6%	58.1%	60.7%	58.8%
	N = 684	N = 191	N = 112	N = 86	N = 173	N = 68

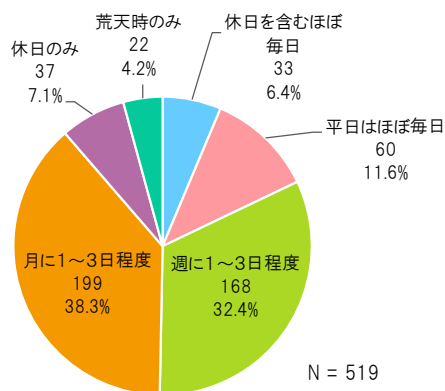
(2) 誰を送迎しているか



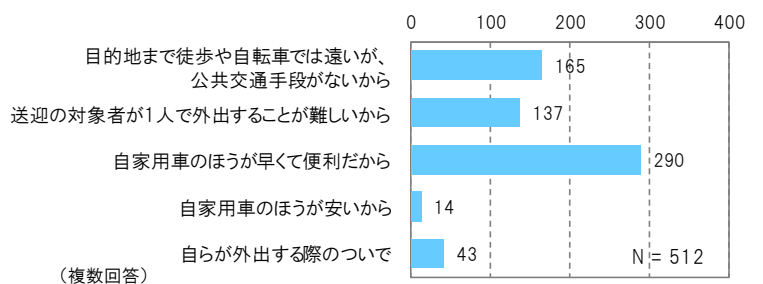
(3) 送迎の目的



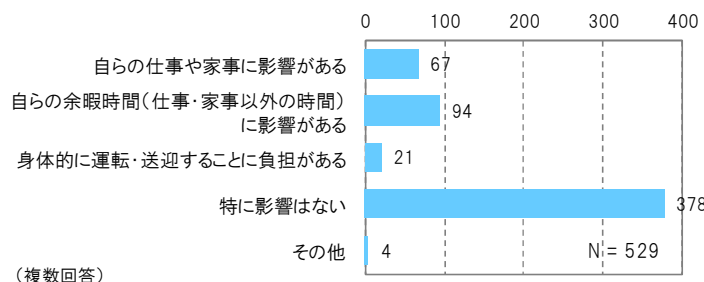
(4) 送迎の頻度



(5) 送迎の理由



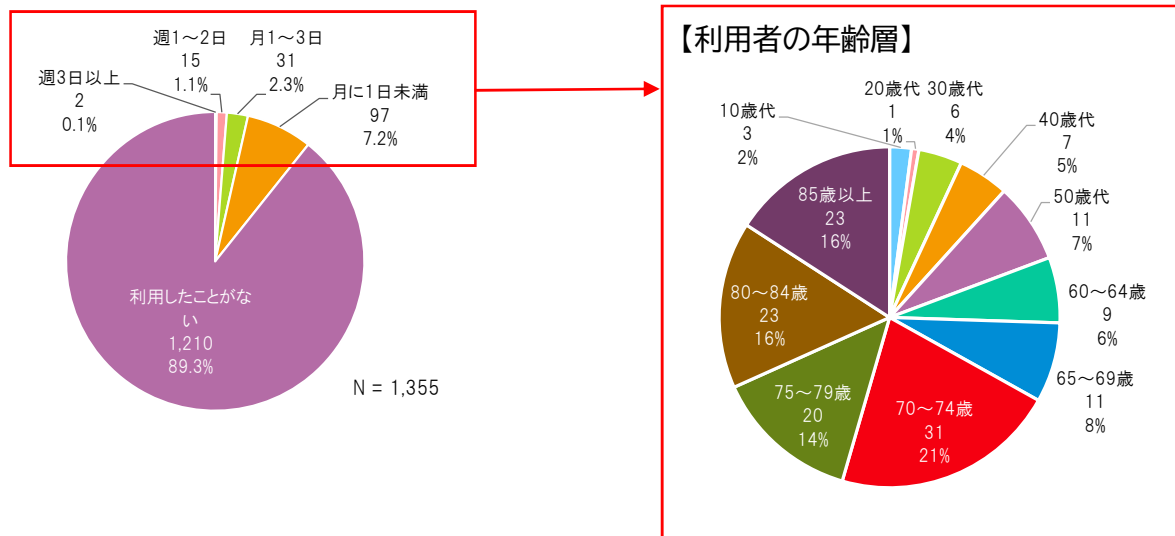
(6) 送迎の影響



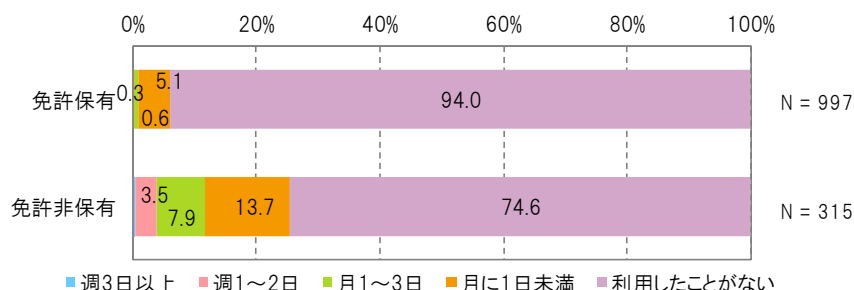
④ コミュニティバスの利用状況について

(1) コミバスの利用頻度

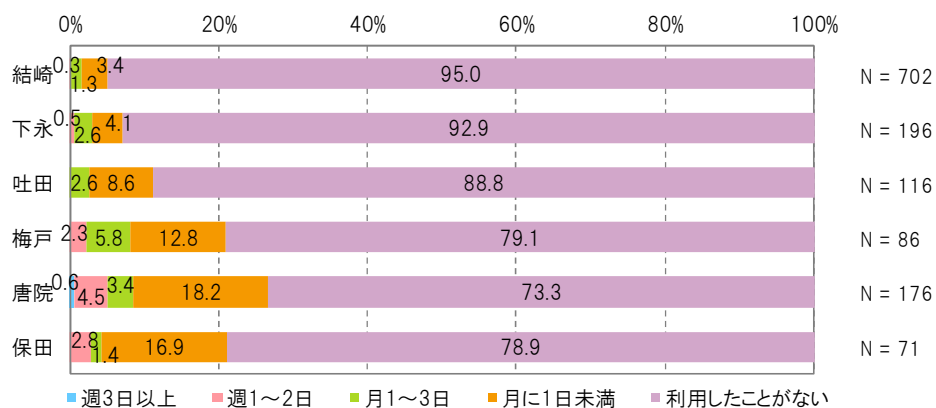
- ・ コミバスを利用しているのは約1割ですが、免許非保有者だけで見ると、約25%となっています。利用頻度としては、月に1日未満が最も多くなっています。
- ・ 利用していると回答した人の年齢層は、65歳以上が約75%、75歳以上が約4割を占めています。
- ・ 地域別では、唐院・保田・梅田地域では2割を超えています、その他の地域では1割を下回っています。



【免許保有状況別集計】

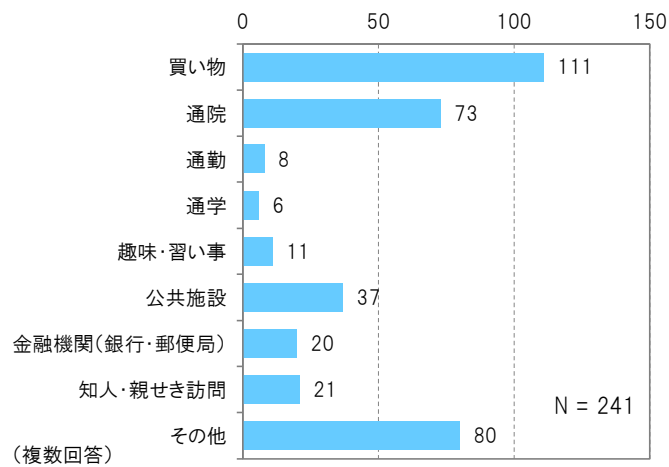


【地域別集計】



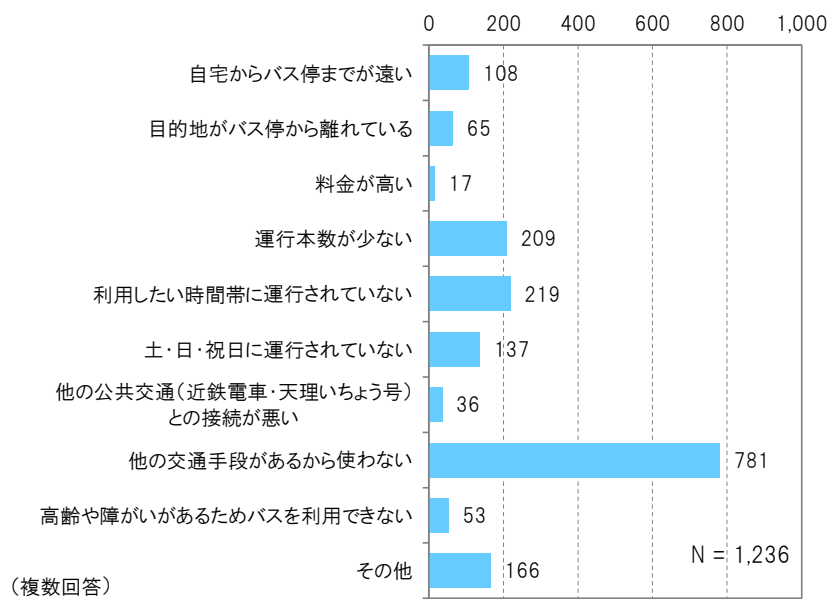
(2) コミバスの利用目的

・ コミバスの利用目的としては、買い物が最も多く、次いで、その他、通院が多くなっています。



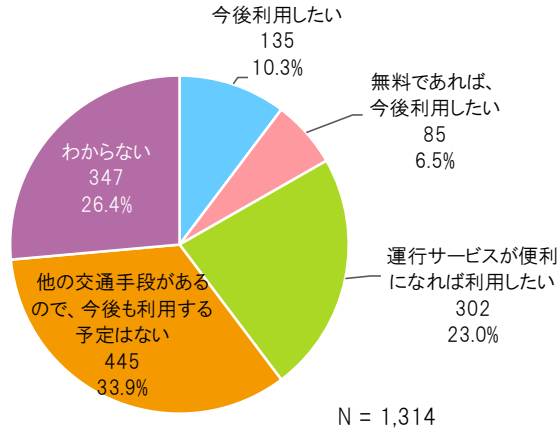
(3) コミバスを利用しない理由

・ コミバスを利用しない理由としては、他の交通手段があるから使わないが最も多く、これに次いで、コミバスの運行時間帯や運行本数を理由に挙げる人が多くなっています。

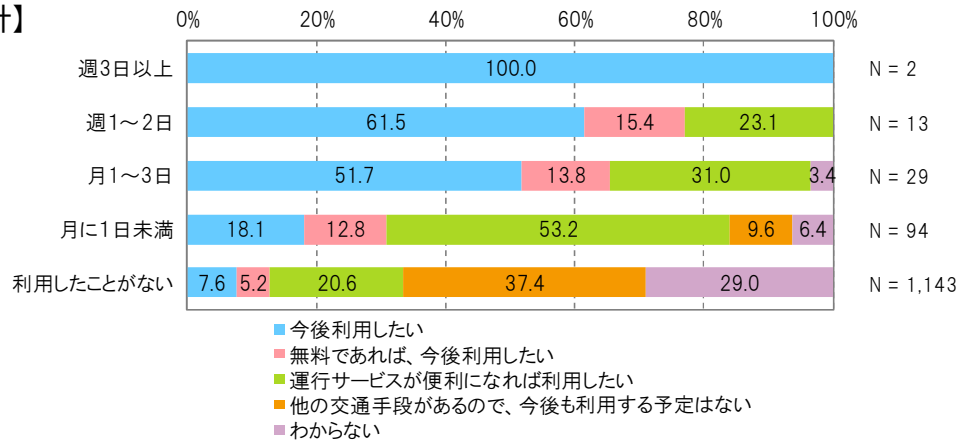


(4) コミバスの今後の利用意向

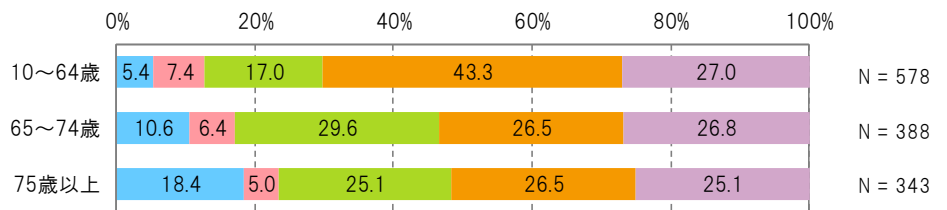
・ コミバスの今後の利用意向については、今後も利用する予定がないという回答が最も多いですが、高齢者ほど今後の利用意向は高く、約 2 割が今後利用したい、約 3 割が運行サービスの改善により利用してもよいと回答しています。



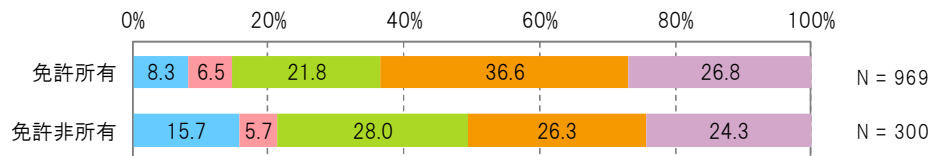
【利用頻度別集計】



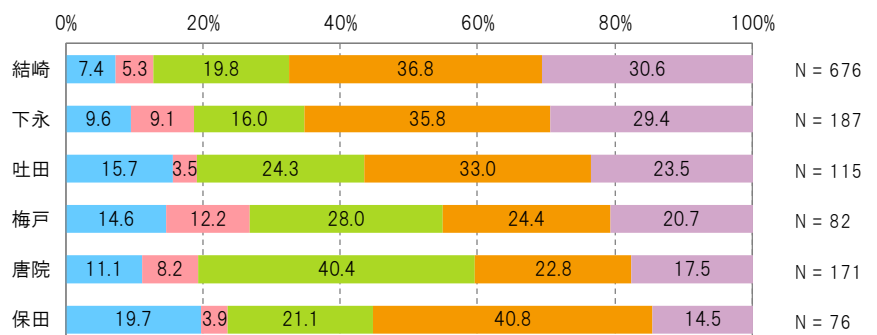
【年齢別集計】



【免許保有状況別集計】

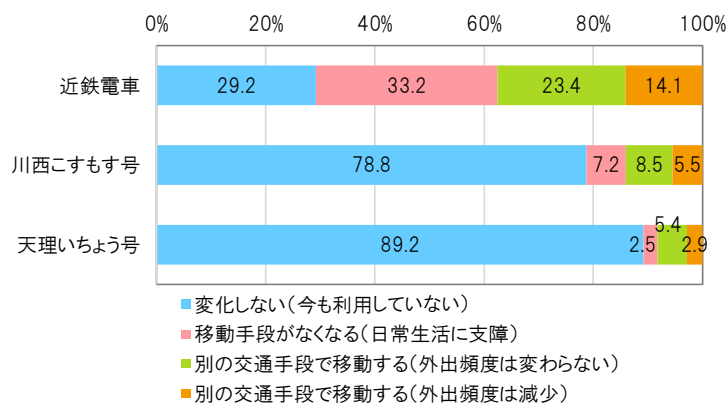


【地域別集計】

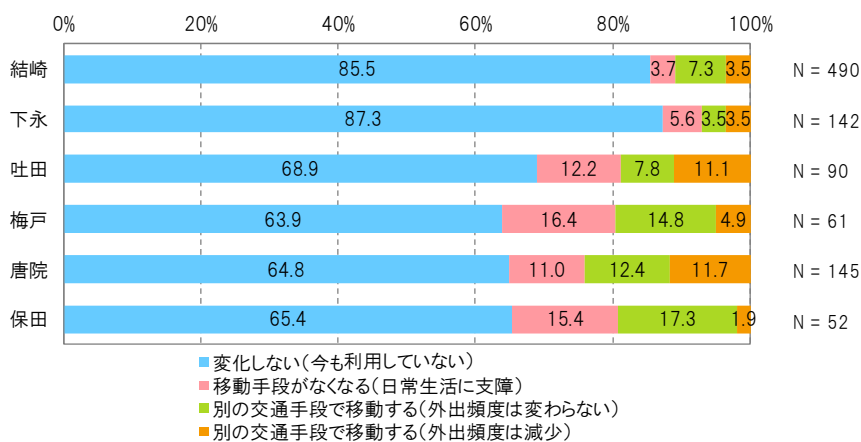


⑤ 地域公共交通がなくなった場合の生活への影響

・近鉄電車がなくなると日常生活に支障があると回答した人が約3割、川西町コミュニティバスがなくなると支障があると回答した人は約7%となっています。



【地域別集計 (川西こすもす号)】

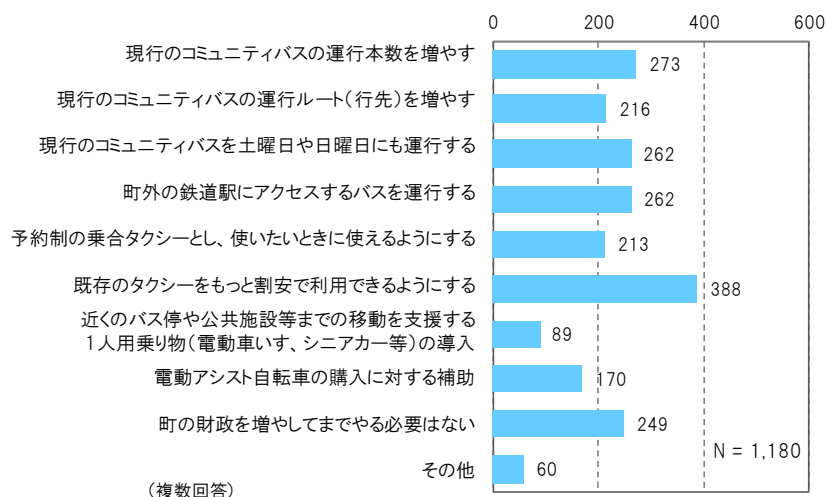


⑥ 今後必要だと思う (あればぜひ利用したい) サービス

・今後必要だと思う地域公共交通のサービスについては、「既存のタクシーを割安で利用できるようになること」と回答した人が回答者数の約3割で、最も多くなっています。

・また、運行本数増、土日運行、町外駅へのアクセス等のコミュニティバスのサービス改善を望む人も、それぞれにつき約2割程度あります。

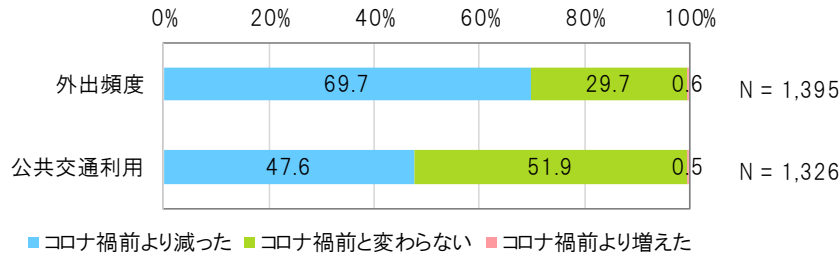
・回答者数の約2割は、町の財政を増やしてまでやる必要はないと回答しています。



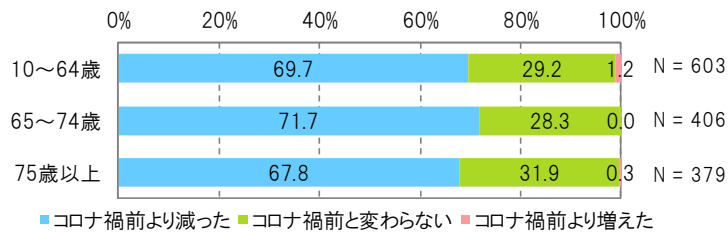
⑦ 生活スタイルの変化

(1) 新型コロナの影響

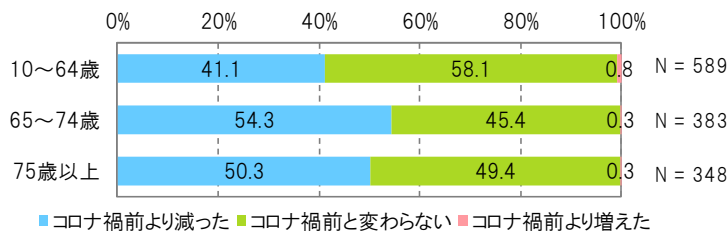
- ・新型コロナの影響により、外出頻度がコロナ禍前より減ったと回答した人が約7割、公共交通利用がコロナ禍前より減ったと回答した人が約5割となっています。
- ・公共交通が安心して利用できないために利用を控えているという人は2割程度おり、その代わりに利用が増えた交通手段としては、自動車が多くなっています。



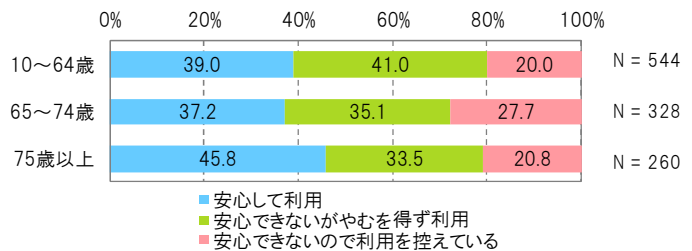
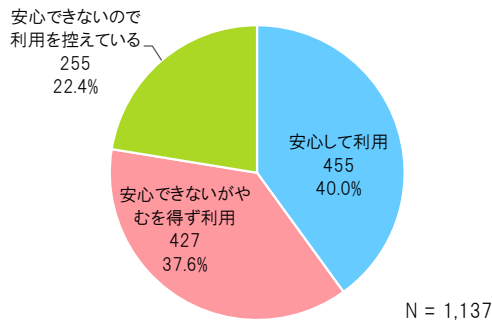
【外出頻度 (年齢別)】



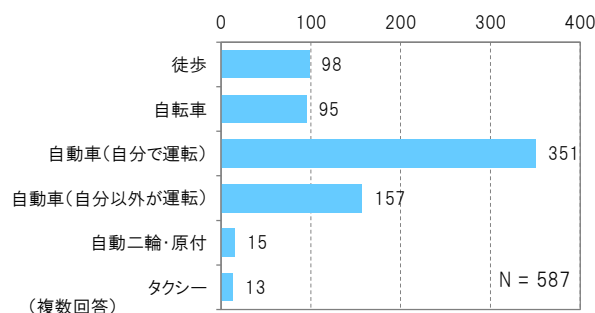
【公共交通利用 (年齢別)】



【公共交通が安心して利用できているか】

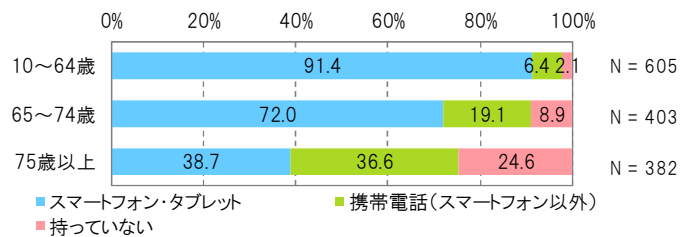
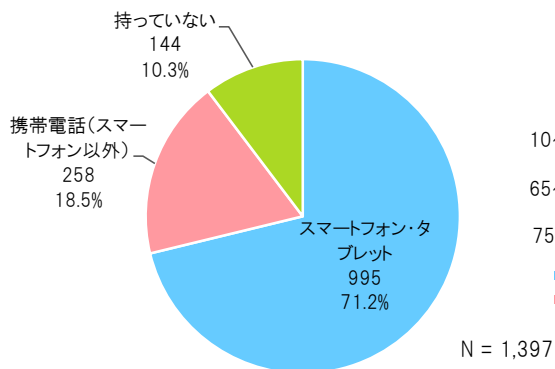


【代わりに増えた交通手段】

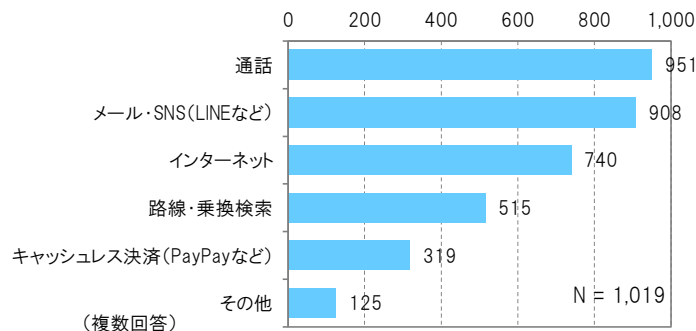


(2)スマートフォンの利用

- ・スマートフォンの普及が進んでいますが、75歳以上の高齢者の所有率はまだ4割弱にとどまっています。
- ・スマートフォンを用いて利用する機能としては、通話、メール・SNS、インターネットの順に多く、これらの利用率は64歳未満では8割を超えますが、65歳以上では利用率は低くなっており、75歳以上では、メール・SNSは約3割、インターネットは2割未満となっています。



【スマートフォンを用いて利用する機能】



	10~64歳	65~74歳	75歳以上
通話	83.6%	70.0%	41.6%
メール・SNS(LINEなど)	86.8%	65.5%	30.1%
インターネット	80.3%	45.7%	17.3%
路線・乗換検索	57.0%	28.5%	13.4%
キャッシュレス決済(PayPayなど)	40.8%	12.9%	4.7%
その他	13.9%	6.9%	3.1%
計	N = 605	N = 403	N = 382

(3) 結果概要 (まとめ)

【ふだんの外出】

- ・通勤・通学は、町外（奈良県内）が5割以上を占める。
- ・最も多く行く買い物先としては、スーパーおくやま・結崎店が最も多く（約5割）、次いで天理市内（約2割）。2番目によく行く買い物先としては、天理市が約3割、田原本町が約2割と町外が多くなっている。外出頻度は週1~2回が最も多く約4~5割。
- ・最も多く行く通院先としては、川西町内の診療所・医院が最も多く（約5割）、次いで天理よろず病院（約1割強）。2番目に多く行く通院先としては、天理よろず病院が約3割で最も多い。外出頻度は月に1日未満が最も多く6割を超える。
- ・交通手段はいずれの目的とも自家用車（自分で運転）が約5割程度を占め最も多い。
- ・日常的に家族等を送迎している人は全体の約4割で、買物・通院での送迎が多い。

【コミュニティバスの利用について】

- ・利用したことがあるのは約1割弱で、そのうち約7割が月に1日未満の利用となっている。利用者の約75%が65歳以上で、さらに、75歳以上が約4割を占めている。
- ・コミバスを利用しない理由としては、「他の交通手段があるから」が最も多く、これに次いで、コミバスの運行時間帯や運行本数を利用しない理由に挙げる人が多い。
- ・高齢者ほど今後の利用意向は高く、運行サービスの改善により利用してもよいと考える人も3割程度いる。

【今後の地域公共交通について】

- ・近鉄電車がなくなると日常生活に支障があると回答した人が約3割、川西町コミュニティバスがなくなると支障があると回答した人は約7%。
- ・今後必要だと思う地域公共交通のサービスについては、「既存のタクシーを割安で利用できるようになること」と回答した人が最も多く、回答者数の約3割。コミバスのサービス改善（運行本数増、土日運行、町外駅へのアクセス等）についても、それぞれについて約2割程度が改善を望んでおり、コミバス・タクシーに対する要望が多くなっている。また、町の財政を増やしてまでやる必要はないと回答した人は約2割程度となっている。

【生活スタイルの変化について】

- ・新型コロナの影響により、外出頻度や公共交通利用が減ったという人が約5~7割を占める。また、公共交通の利用を控えているという人も2割程度おり、その代わりに利用が増えた交通手段としては、自動車が多い。
- ・スマートフォンの普及が進んでいるが、75歳以上の高齢者の所有率はまだ4割弱にとどまっている。

6. 川西町の地域公共交通に関する現状と課題

6-1 現状のまとめ

(1) 川西町の現状・社会情勢

- ・人口減少・高齢化が進展。今後、高齢者の総数は減少していくが、75歳以上の後期高齢者数は増加する。要介護認定者も増加見込み。
- ・結崎地区に人口の約7割が集中し、地域間で人口集積、土地利用等に偏りがある。
- ・日常生活を送るうえで、移動における自動車への依存度が高まっている。
- ・運転免許の自主返納件数は増加傾向にある一方、公共交通の主要な利用者であった女性高齢者の運転免許保有率も上昇傾向にある。
- ・鉄道駅から結崎・唐院工業団地への従業員送迎バスが企業単位で運行されている。運行は朝夕に集中し、昼間の運行はない。

(2) コミュニティバスの利用状況

- ・コミュニティバスは町内を概ね網羅するように運行しているが、現状では必ずしも利用者は多くなく、事業採算性も非常に低い状況が続いている。
- ・買い物目的でスーパーおくやまを訪れる人のコミュニティバス利用が多くを占めており、利用区間・利用時間帯・利用者に大きな偏りが見られる。
 - 利用区間：結崎駅～保田公民館に集中
 - 利用時間帯：午前中に集中
 - 利用者：毎日のように利用するヘビーユーザ（数十名程度）
- ・限られた利用者ではあるが、多くが運転免許を持たない高齢者であり、生活を送るうえでコミュニティバスが必要不可欠で、増便、運行時間帯の拡大、土日祝の運行が望まれている。

(3) 町民の移動ニーズ（町民アンケート結果より）

- ・外出時の交通手段の5割程度を自動車に占めており、自家用車による移動が定着している。日常的に自家用車による送迎を行っている人も4割程度いる。
- ・買物・通院目的でよく行く行き先は町内が最も多いが、買物は天理市や田原本町、通院は天理市への利用もこれに次いで多くなっている。
- ・コミバスを利用したことがあるのは約1割弱で、利用頻度も低い。利用者の大半を高齢者が占めており、後期高齢者も多い。
- ・コミバスを利用しない理由としては、「他の交通手段があるから」が最も多い。
- ・高齢者ほど今後のコミバス利用意向は高く、運行サービスの改善により利用してもよいと考える人も2割程度いる。
- ・今後必要だと思う地域公共交通のサービスについては、既存のタクシーの割安利用が約3割、コミバスのサービス改善（運行本数増、土日運行、町外駅へのアクセス）についてはそれぞれ2割程度と、コミバス・タクシーに対する要望が多くなっている。一方で、町の財政を増やしてまでやる必要はないとの意見も見られる。
- ・新型コロナの影響により、5～7割の人の外出頻度・公共交通利用が減り、2割が公共交通の利用を控えている。その代わりとして自動車を利用する人が増えている。
- ・スマートフォンの普及は進むが、75歳以上高齢者の所有率は4割弱にとどまっている。

6-2 地域公共交通の課題の整理

課題①

コミュニティバスは必要だが、利用実態・移動ニーズに合わせた見直しが必要

- 利用者の少ないコミュニティバスですが、運転免許を持たない高齢者が主な利用者層となっており、そうした方々にとっては生活を送るうえで必要不可欠な移動手段となっています。
- 今後、効率的な運行・ニーズに合わせた運行に向け、運行内容の改善やその他サービスによる対応の可能性を模索する必要があります。



《課題を見出した背景》

- コミュニティバスは利用者が少なく、利用の多くがスーパーおくやまへの買物利用。
- 利用区間は、保田線（スーパーおくやま～川西町役場～保田公民館）が多くを占めており、吐田線（結崎団地北口～北吐田公民館～唐院西口）及び保田線（京奈和自動車道高架下～東方東口）は利用者が非常に少ない。

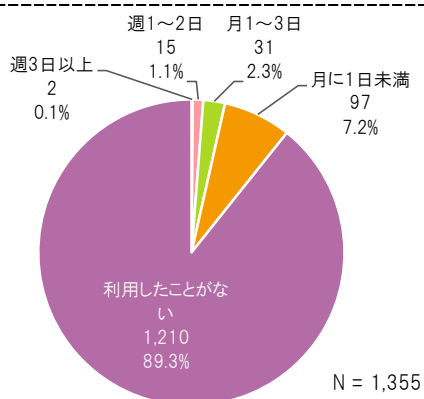


図 コミュニティバスの利用頻度
【令和3(2021)年11月実施の町民アンケートより】

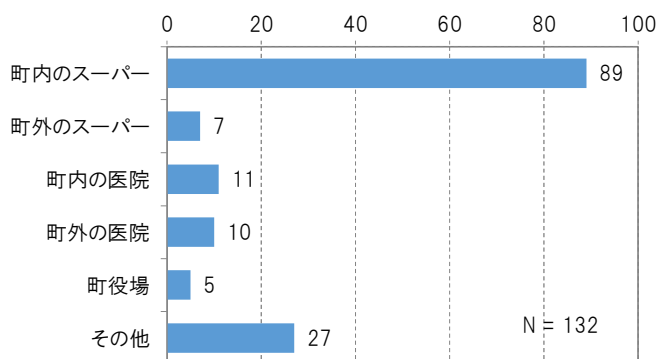


図 コミュニティバスの利用目的
【令和3(2021)年11月実施の利用者アンケートより】

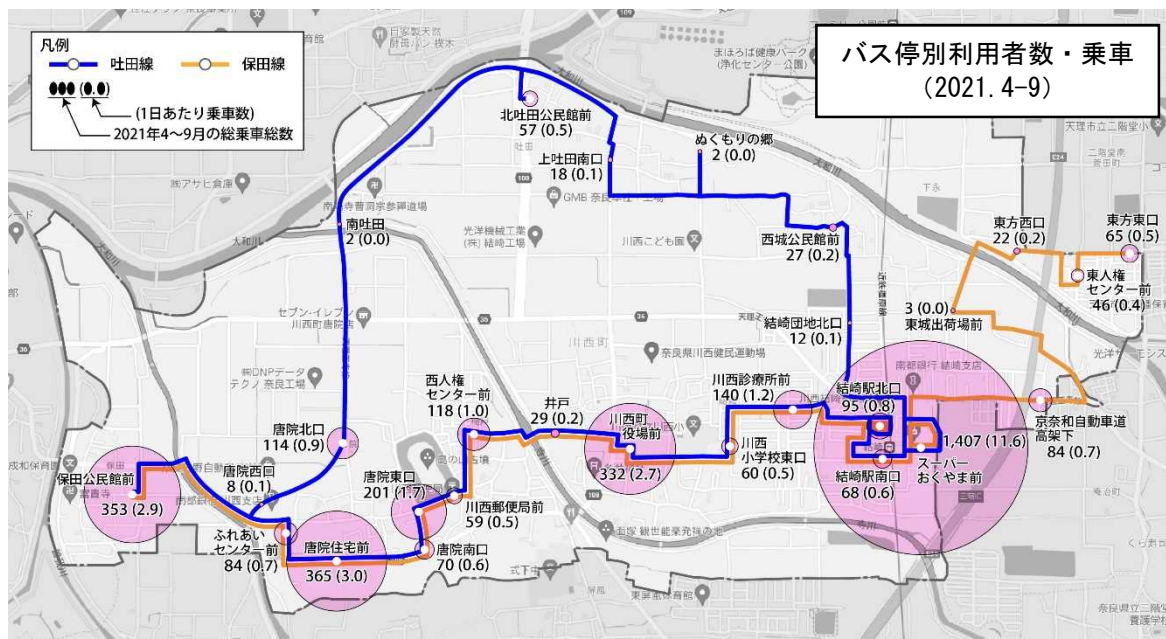


図 コミュニティバスのバス停別利用者数（乗車）【令和3(2021)年4～9月の利用実績より】

・コミュニティバスの利用時間帯は、午前中に集中し、午後の利用は非常に少ない。

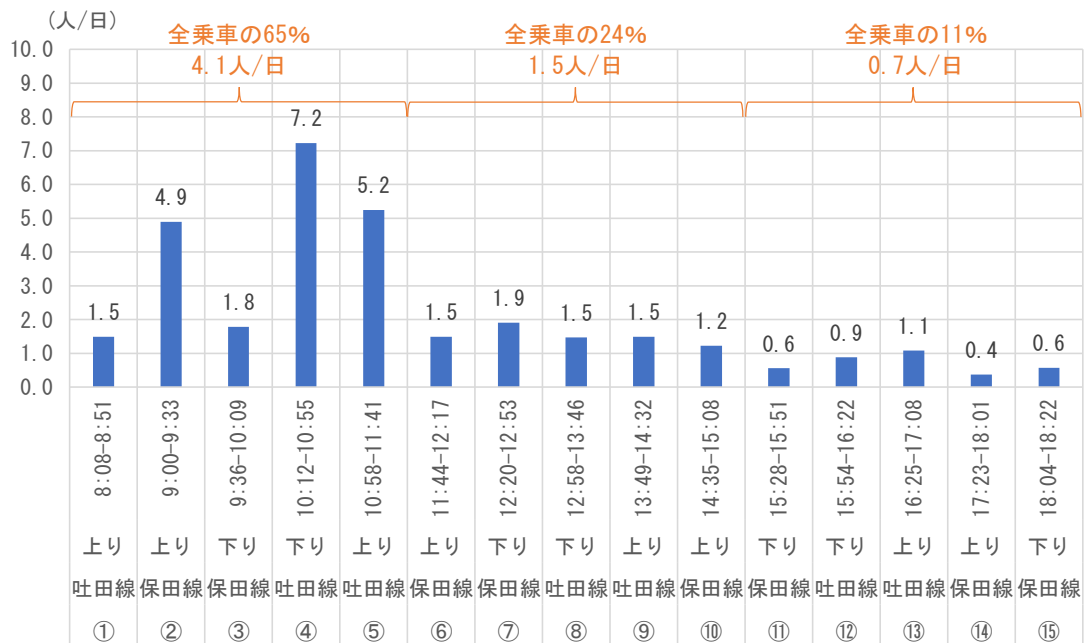
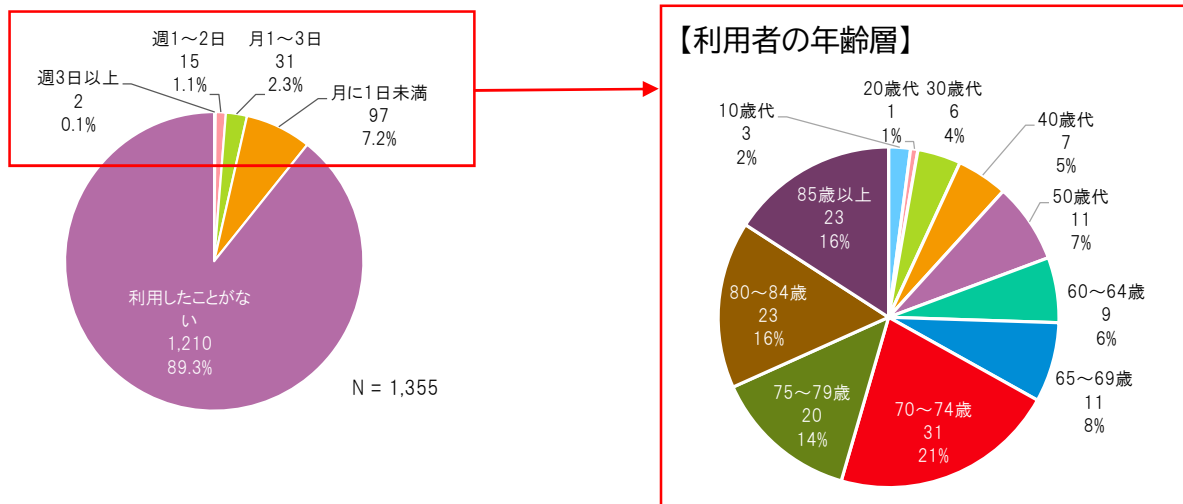


図 1日あたり便別利用者数【令和3(2021)年4-9月の利用実績より】

・コミュニティバスの主要な利用者は、免許非保有の高齢者となっており、75歳以上の後期高齢者が約半数を占めている。



【免許保有状況別集計】

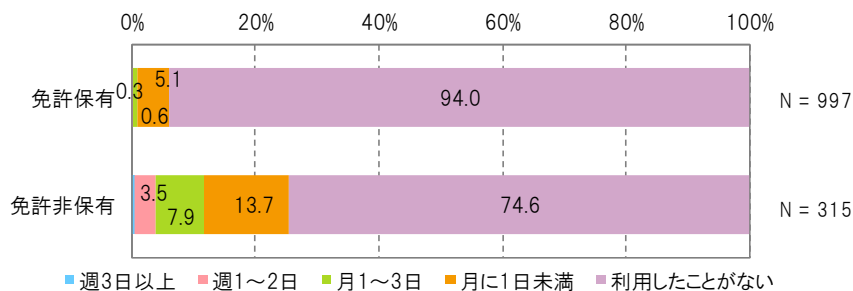


図 コミュニティバスの利用者層【令和3(2021)年11月実施の町民アンケートより】

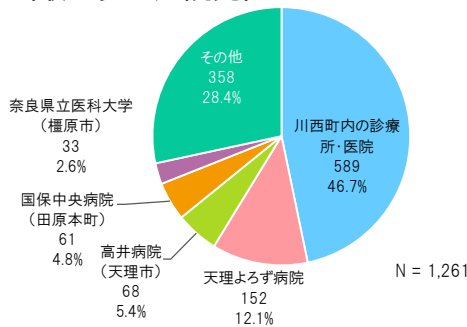
・コミュニティバスの利用者からは、生活を送るうえでコミュニティバスが必要不可欠で、増便、運行時間帯の拡大、土日祝の運行が望む声が多い。

表 コミュニティバス利用者の自由意見【令和3(2021)年11月実施の利用者アンケートより】

助かっている・重宝している・満足している・ありがたい・辞めないでほしい	14
運行便数を増やしてほしい	14
土日祝日に運行してほしい	6
運行ルートの変更や延伸(JR駅方面)	3
最終は役所どまりではなく保田公民館まで	2
朝晩の運行時間帯を伸ばしてほしい	2
3連休時に1日でよいので運行してほしい	2
バス停を増やしてほしい	2
押し車を乗せられるようにしてほしい	1

・町民の町外への移動状況を見ると、通院先としては天理よろづ病院が多い。頻度は月1回未満が半数以上で自家用車でのアクセスが中心だが、高齢者は送迎・鉄道・タクシーでの通院割合が高い。

(最も多い通院先)



(2番目に多い通院先)

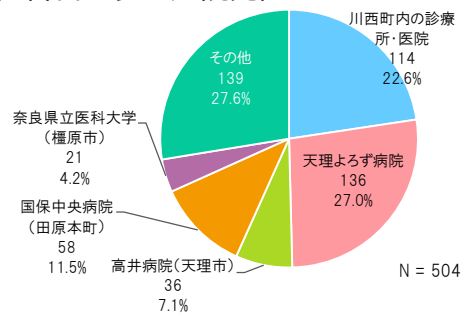


図 主要な通院先【令和3(2021)年11月実施の町民アンケートより】

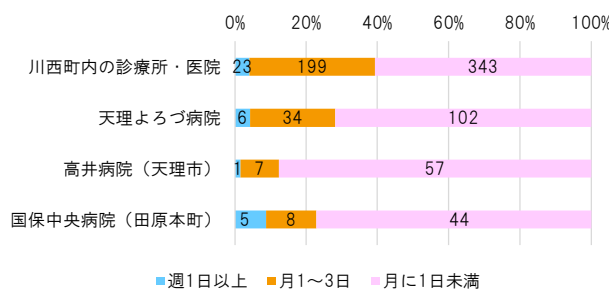
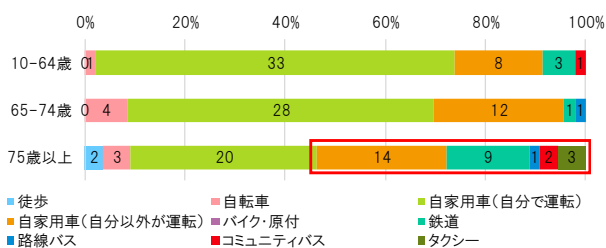


図 主要な通院先の利用頻度【令和3(2021)年11月実施の町民アンケートより】

(最も多い通院先)



(2番目に多い通院先)

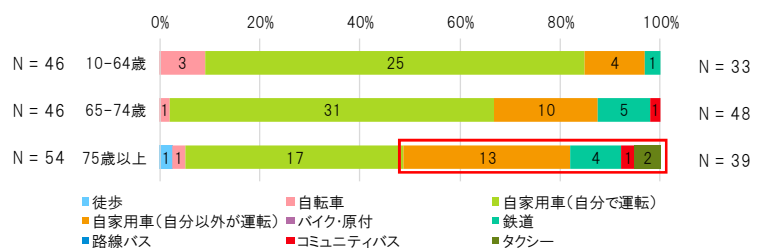


図 天理よろづ病院への交通手段【令和3(2021)年11月実施の町民アンケートより】

・通勤・通学は町外が多く、通学は鉄道、通勤は自動車が多い。利用する鉄道駅としては結崎駅が多くを占める。一部地域では法隆寺駅利用の割合が多いが、総数としては少ない。

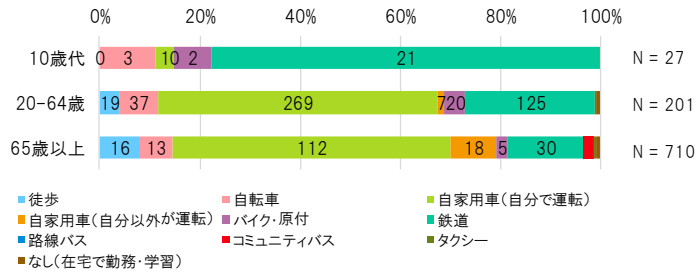


図 通勤・通学時の交通手段（年齢別）【令和3(2021)年11月実施の町民アンケートより】

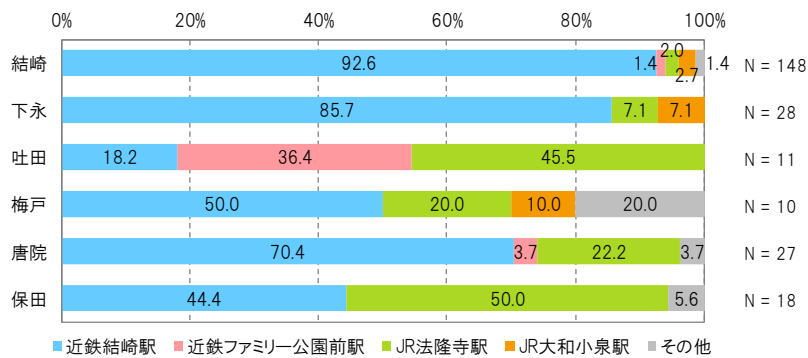


図 通勤・通学で利用する鉄道駅（地域別）【令和3(2021)年11月実施の町民アンケートより】

課題②

コミュニティバス等で移動が困難な人でも移動しやすい環境を整えることが必要

- コミュニティバス等を利用したくても利用することが困難な人（高齢や障害等の理由により、家からバス停やバス停から目的地までが遠い、その移動が厳しい等）が数は少ないですが一定数存在し、バスサービスの充実による移動の支援には限界があります。
- 今後、高齢者全体（65歳以上）の人口は減少するものの、75歳以上の後期高齢者の人口や、要支援・要介護の認定者数は増加する見込みであることから、コミュニティバスでは移動が困難な町民も移動しやすい環境を整えていくことが必要です。



《課題を見出した背景》

- 公共交通を使って一人で外出が困難な人が一定数おり、75歳以上の免許非保有者が多い。

○「公共交通を使って1人で外出することが困難」と回答した人

➡回答者の約8%（112人）。うち約84%（94人）が65歳以上、そのうち約92%（81人）が免許非保有。

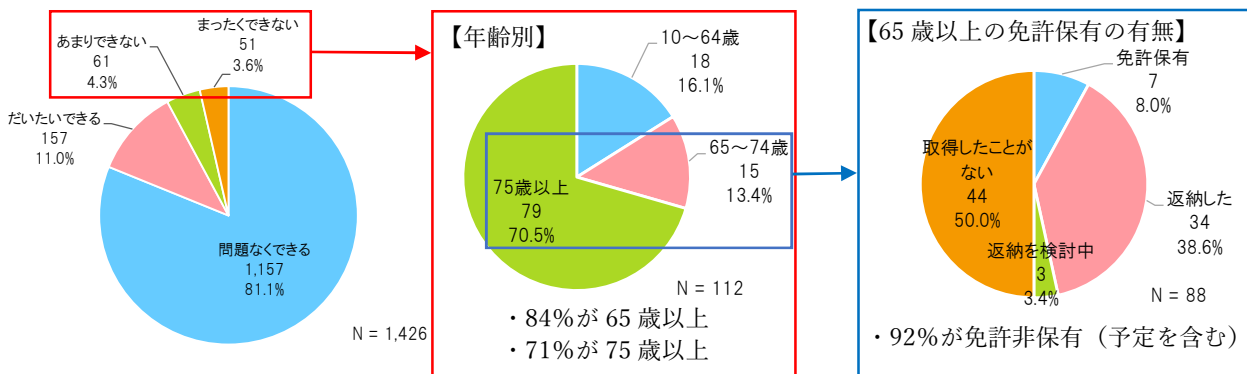


図 公共交通を使って一人で移動できるか【令和3(2021)年11月実施の町民アンケートより】

・公共交通を使って一人で外出が困難な人がコミュニティバスを利用しない理由については、高齢・障害があることとする人が最も多く、コミュニティバスによる対応には限界がある。

○「コミバスを利用しない理由」、「公共交通を使って一人で外出が困難な人」の回答
 ➔「高齢・障害があるためバスを利用できない」との回答が最も多い（38人/92人）。

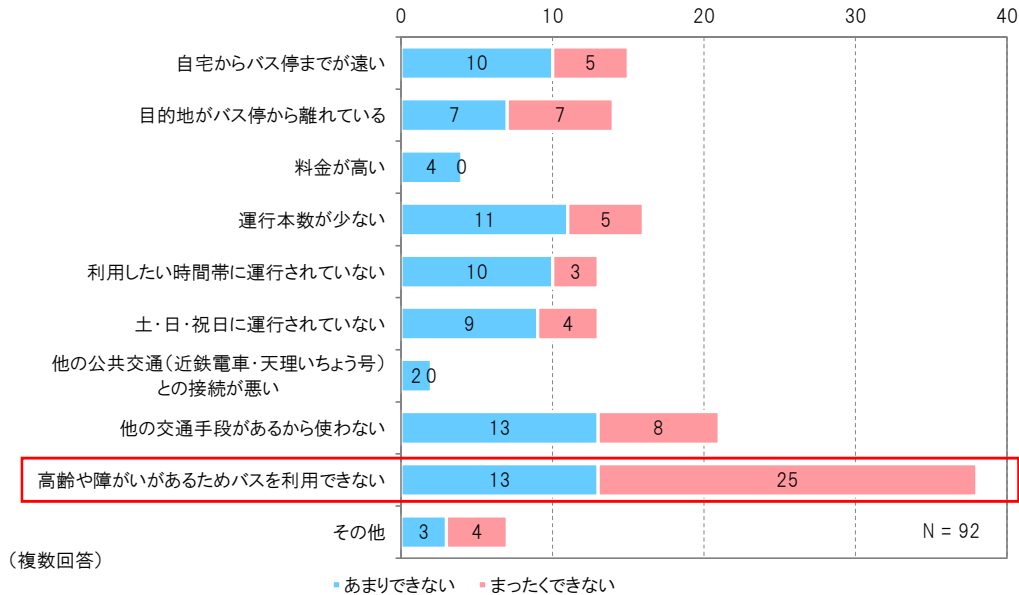
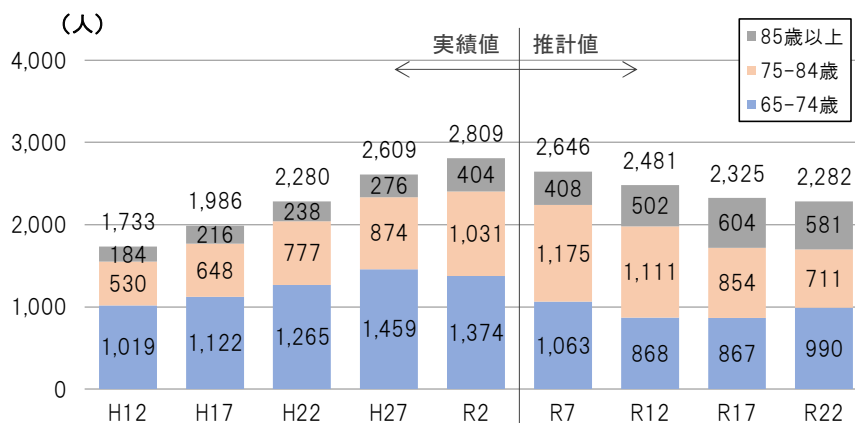


図 コミュニティバスを利用しない理由（公共交通を使って一人で外出が困難な人のみ）
 【令和3（2021）年11月実施の町民アンケートより】

・今後、高齢者のうち、65～74歳人口は減少するが、75歳以上人口は増加する見込み。
 ・今後、要支援・要介護認定者数は増加する見込み。



※推計値は、国立社会保障・人口問題研究所によるもの（H27国勢調査結果より推計）
 資料：国勢調査（実績値）、国立社会保障・人口問題研究所（推計値）

図 高齢者人口の推移

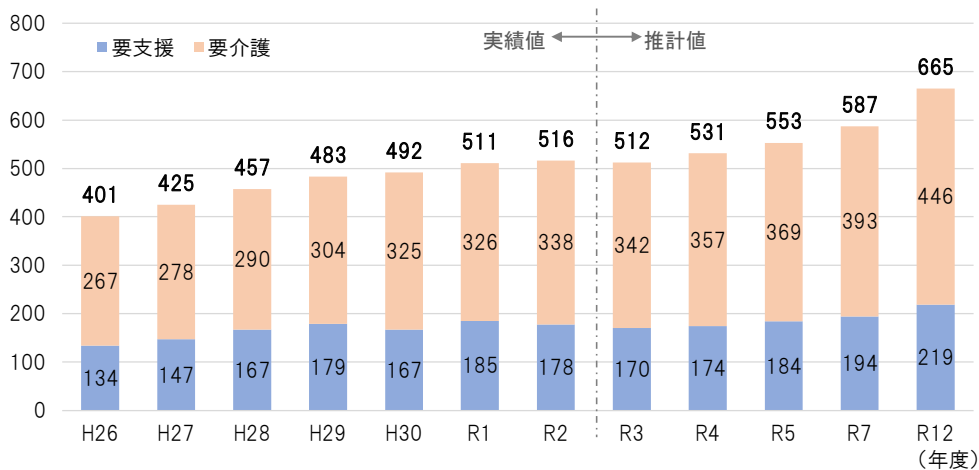


図 要支援・要介護の認定者数推移

・公共交通を使って一人で外出が困難な人は、既存タクシーの割安利用を望む声が多い。

○「今後必要なサービス」、「公共交通を使って一人で外出が困難な人」の回答

➡「既存タクシーの割安利用」を望む声が多い（38人／78人）。

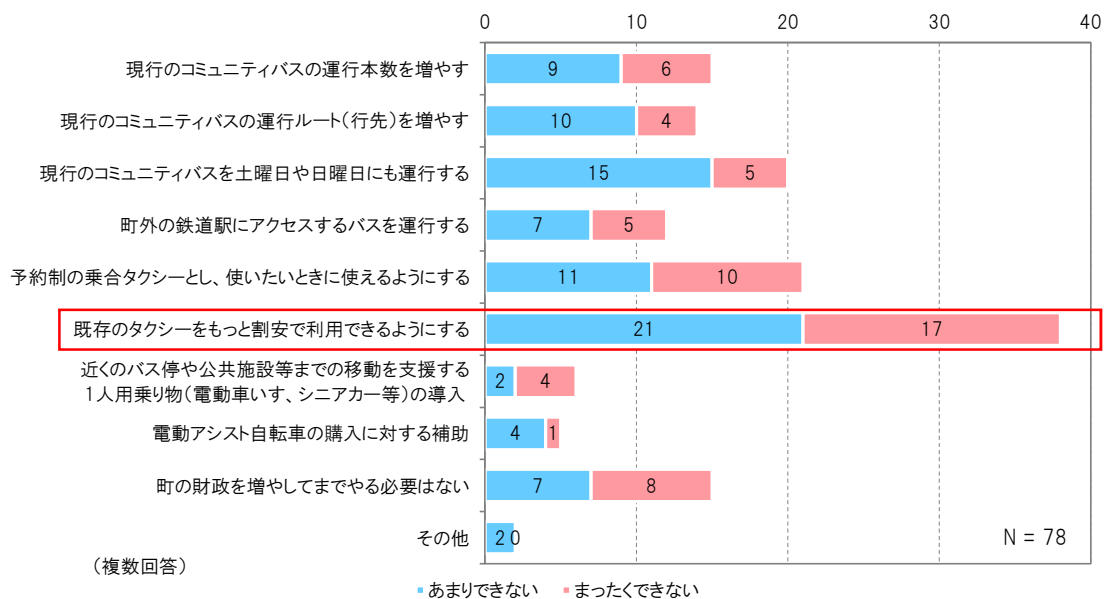


図 今後必要なサービス（公共交通を使って一人で外出が困難な人のみ）

【令和3(2021)年11月実施の町民アンケートより】

課題③

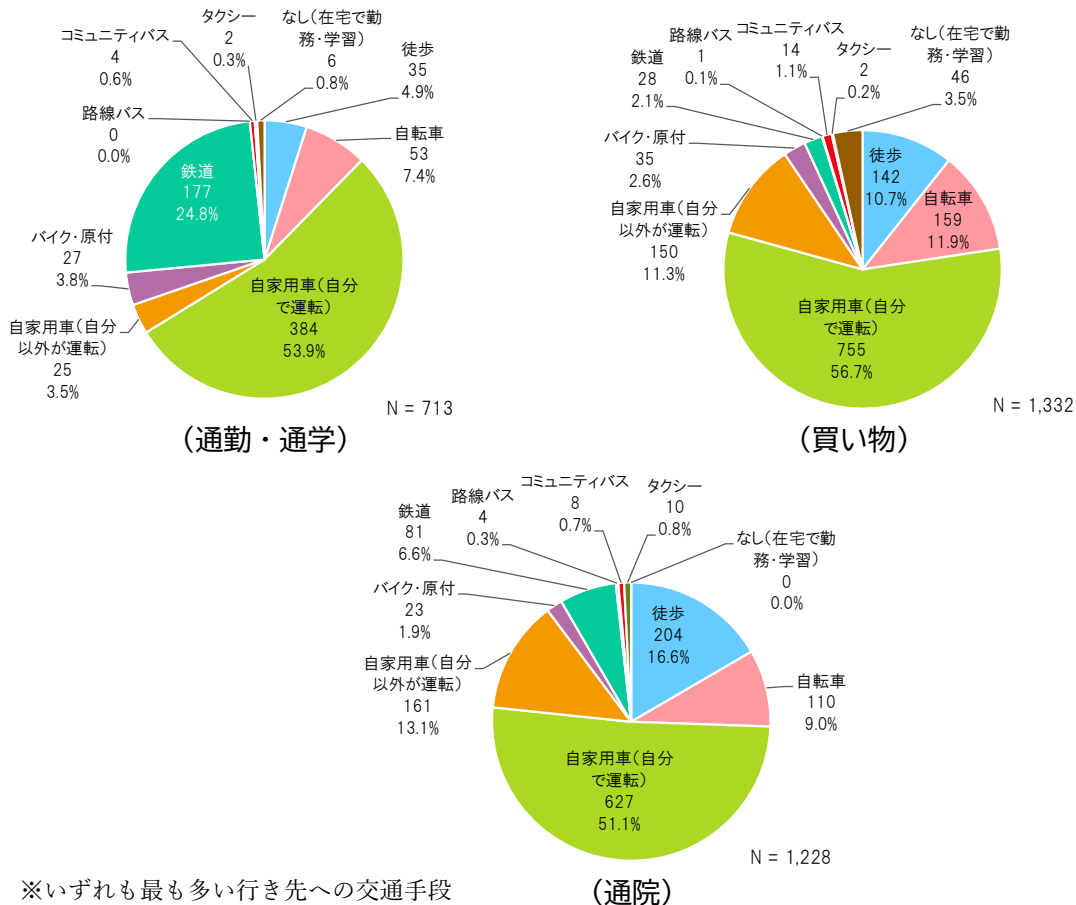
地域公共交通に対する理解を深めてもらうことが必要

- 町民の移動は自家用車への依存度が高く、自家用車なしの生活は考えにくくなっています。
- 一方で、交通事故に占める高齢運転者の割合は増加傾向にあります。
- 高齢者の交通事故を減らしていくためにも運転免許の返納を促していくことが重要ですが、高齢者の免許返納が進みにくい理由として、免許がなければ日常生活に困るという意見が多くなっています。
- 運転免許を自主返納した高齢者が、返納後も移動に困らない環境を整え、自家用車に頼らなくても生活ができることを認識してもらえるよう取り組んでいく必要があります。
- また、新型コロナによって町民の外出や公共交通利用頻度が減少しており、持続可能な地域公共交通を目指していくために利用促進を図っていくことが必要です。



《課題を見出した背景》

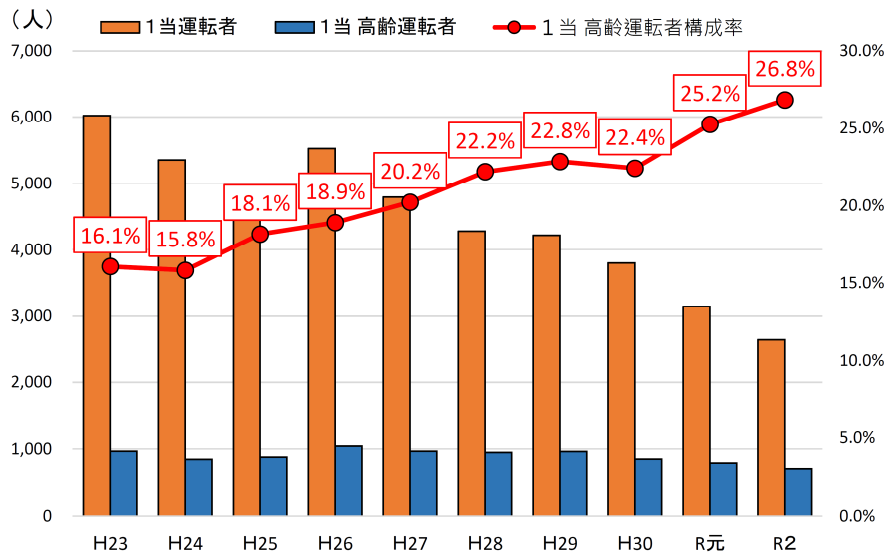
- 川西町民の普段の外出における移動手段のうち自動車（自分で運転・自分以外が運転）が占める割合は、通勤・通学、買い物、通院ともに自家用車が半数以上を占めており、日常生活における自動車への依存度が高くなっています。



※いずれも最も多い行き先への交通手段

図 ふだんの外出時における交通手段【令和3(2021)年11月実施の町民アンケートより】

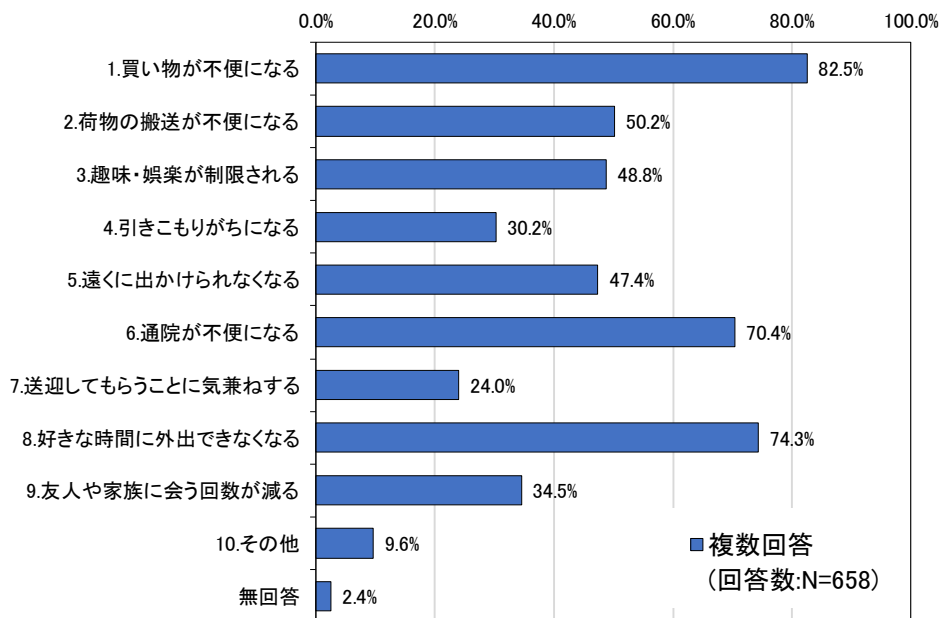
・奈良県内における交通事故の発生件数は減少傾向にあります、高齢運転者による事故の割合は増加傾向にあります。



出典：令和2年における交通事故の発生状況等について（奈良県版）（奈良県警）

図 奈良県内の交通事故に占める高齢運転者の構成率の推移（第1当事者のみ）

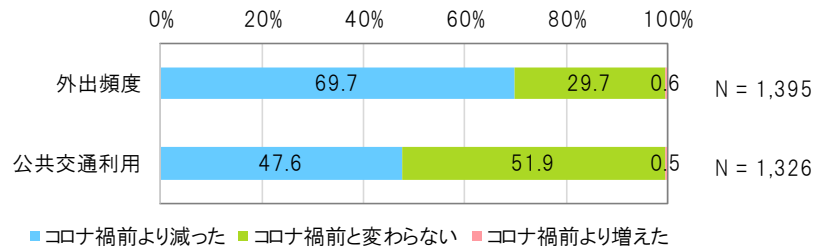
・高齢者の免許返納が進みにくい理由として、免許がなければ日常生活に困るという意見が多くなっています。



出典：令和元年度川西町民の移動に関する調査（高齢者を対象に実施したアンケート結果）

図 運転免許を返納しない理由

・新型コロナの影響により、町民の外出や公共交通利用頻度は減少しており、その代わりに自動車による移動が大きく増えています。



■ コロナ禍前より減った ■ コロナ禍前と変わらない ■ コロナ禍前より増えた
 図 外出や公共交通利用頻度の変化
 【令和3(2021)年11月実施の町民アンケートより】

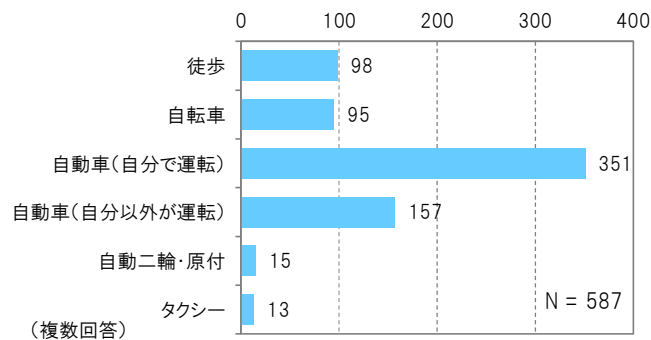


図 公共交通の代わりに増えた交通手段
 【令和3(2021)年11月実施の町民アンケートより】

7. 地域公共交通計画の基本方針と目標

7-1 計画の基本方針

本町における地域公共交通の課題と、まちづくりの方向性を踏まえ、地域公共交通計画の基本方針を以下のとおり定めます。

地域公共交通の課題
(1) コミュニティバスは必要だが、利用実態・移動ニーズに合わせた見直しが必要
(2) コミュニティバス等で移動が困難な人でも移動しやすい環境を整えることが必要
(3) 地域公共交通に対する理解を深めてもらうことが必要



まちづくりの方向性（上位・関連計画）
(1) 交通結節機能の強化と安全で円滑な交通環境の実現
(2) 公共交通の利便性向上
(3) 公共交通利用促進に向けた広報活動の推進
(4) まちのにぎわい創出、住民参加のまちづくり、歩いて楽しむ拠点づくり



地域公共交通計画の基本方針（案）	
基本理念	町民の生活を守り、まちの魅力を高める地域公共交通 安全・安心・元気に暮らせる魅力あるまちを実現するため、これを支える持続可能な地域公共交通を目指します。
地域公共交通が果たすべき役割	○日常生活の維持・充実を支える 高齢者を中心に幅広い世代や多様な人々が、移動に困らずに暮らし続けることができるよう、毎日の「暮らし」を支える誰もが利用できる移動手段を確保する。 ○交流機会の向上を支える 町民同士や町民と来訪者が交流する機会を増やし、町の活力が向上するよう、町民が「おでかけ」しやすい移動手段を確保する。
基本方針	(1) 持続可能な地域公共交通ネットワークの再構築 誰でも使いやすいコミュニティバスは運行内容見直したうえで維持することにより、利便性が高く、持続可能な地域公共交通ネットワークを構築する。 コミュニティバス等を利用したくても利用することが困難な人について、公共交通の利用環境の整備や新たな移動手段の確保を図る。 (2) 地域公共交通を利用したくなる環境づくり 公共交通に関する情報提供や利用促進策を図ること等により、自家用車に頼らなくても生活ができることを認識してもらうとともに、アフターコロナの外出機会の向上を図る。

7-2 計画の目標

計画の基本方針を踏まえ、計画の目標及び評価指標、目標値を設定します。これらについては、毎年度、評価指標の目標値に対する達成状況を検証します。

目標	評価指標	現状値	目標値 (2027(令和9)年度)
①コミュニティバスの利用者数を維持する	コミュニティバス 1 便当たりの乗車 数	4.0 人/便 ^{※1} (令和2年度実績)	現状値以上
②適正な財政負担により地域公共交通を維持する	利用者 1 人あたり のコミュニティバ ス運行経費	1,477 円 ^{※2} (令和2年度実績)	現状値並み

※1：コミュニティバス乗車数（7,315 人）÷年間運行回数（1,845 便）＝4.0 人/便（令和2年度）

※2：コミュニティバス運行経費（約 1,081 万円）÷コミュニティバス利用者数（7,315 人）＝1,477 円/人（令和2年度）

8. 基本方針に基づく実施施策について

8-1 基本方針1に関する施策

基本方針1「持続可能な地域公共交通ネットワークの再構築」に関して、以下の2つの施策を設定します。

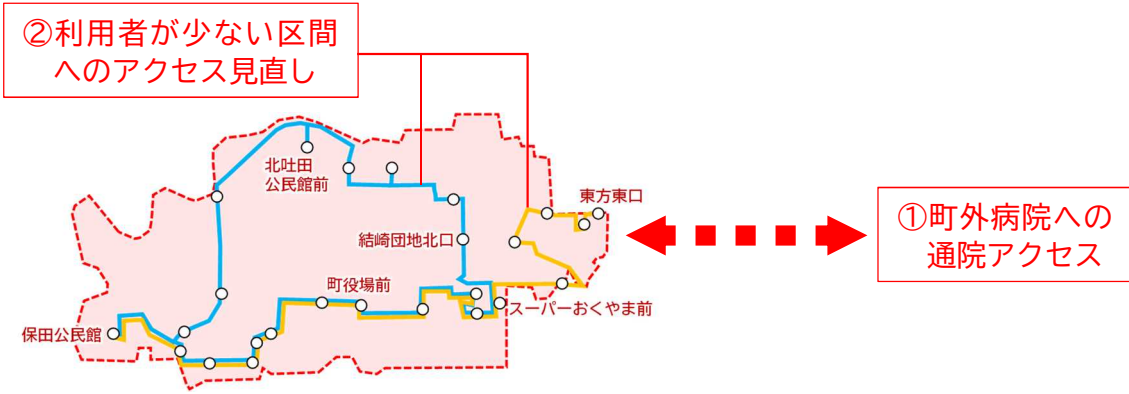
施策① コミュニティバスの再編

施策内容	<p>【施策実施の必要性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスは、町内唯一のバス路線として車を運転できない高齢者を中心に、生活に必要不可欠な公共交通機関として機能しています。 ・今後ますます進展する高齢化社会にあつて、公共交通空白地の解消及び町民の移動手段の確保を目的としたコミュニティバスを将来にわたって持続可能なサービスとして維持することは、川西町のまちづくりにとって最も重要な課題の一つです。 ・コミュニティバスを持続可能なサービスとして維持することは、川西町の財政のみでは困難であり、引き続き、国庫補助を活用していくことが必要です。 <p>【施策の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスの利便性を向上させながら維持していくため、利用実態や移動ニーズを踏まえ、町外アクセスを含めて路線・ダイヤ・停留所等を見直したうえで、実証運行を行います。実証運行の状況を検証し、必要に応じて運行内容を改善していきます。 ・実証運行結果の検証にあたっては、実証運行開始前に運行継続のための評価指標を設定し、客観的に評価を行うこととします。 ・コミュニティバスの利便性向上および運行の維持にあたっては、地域公共交通確保維持事業を活用し、持続可能な交通ネットワークの構築と充実を図ります。 <p>【対象とする系統】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吐田線 ・保田線 				
実施主体	川西町、バス事業者				
スケジュール (年度)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
	運行改善計画の検討・手続き	実証運行	実証運行結果を検証し、必要に応じて運行内容を改善		

【コミュニティバス再編の方向性】

〇再編の方針（案）

- ①町外病院への通院アクセスを図る。
- ②利用者が少ない区間へのアクセス見直しを図る。
- ③利用者が少ない午後便の見直しを図る。
- ④運行時間帯の見直しを図る。



吐田線 (上り)	保田線 (上り)	保田線 (下り)	吐田線 (下り)	吐田線 (上り)	保田線 (上り)	保田線 (下り)	吐田線 (下り)
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
1便	1便	1便	1便	2便	2便	2便	2便



吐田線 (上り)	保田線 (上り)	保田線 (下り)	吐田線 (下り)	吐田線 (上り)	保田線 (上り)	保田線 (下り)
⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
3便	3便	3便	3便	4便	4便	4便

保田公民館前	8:08	-	-	10:55	→	10:58	-	-	13:46	→	保田公民館前	13:49	-	-	16:22	→	16:25	-	-							
唐院西口	8:10	-	-	10:53	↑	11:00	-	-	13:44	↑	唐院西口	13:51	-	-	16:20	↑	16:27	-	-							
唐院北口	8:11	-	-	10:52	↑	11:01	-	-	13:43	↑	唐院北口	13:52	-	-	16:19	↑	16:28	-	-							
南吐田	8:14	-	-	10:49	↑	11:04	-	-	13:40	↑	南吐田	13:55	-	-	16:16	↑	16:31	-	-							
北吐田公民館前	8:17	-	-	10:46	↑	11:07	-	-	13:37	↑	北吐田公民館前	13:58	-	-	16:13	↑	16:34	-	-							
上吐田南口	8:19	-	-	10:44	↑	11:09	-	-	13:35	↑	上吐田南口	14:00	-	-	16:11	↑	16:36	-	-							
ぬくまりの郷	↓	-	-	10:42	↑	11:11	-	-	13:33	↑	ぬくまりの郷	14:02	-	-	16:09	↑	16:38	-	-							
西城公民館前	8:21	-	-	10:40	↑	11:13	-	-	13:31	↑	西城公民館前	14:04	-	-	16:07	↑	16:40	-	-							
結崎団地北口	8:22	-	-	10:39	↑	11:14	-	-	13:30	↑	結崎団地北口	14:05	-	-	16:06	↑	16:41	-	-							
東方東口	↓	9:33	→	9:36	↑	↓	12:17	→	12:20	↑	東方東口	↓	15:08	→	15:28	↑	↓	18:01	→	18:04						
東人権センター前	↓	9:31	↑	9:38	↑	↓	12:15	↑	12:22	↑	東人権センター前	↓	15:06	↑	15:30	↑	↓	17:59	↑	18:06						
東方西口	↓	9:30	↑	9:39	↑	↓	12:14	↑	12:23	↑	東方西口	↓	15:05	↑	15:31	↑	↓	17:58	↑	18:07						
東城出荷場前	↓	9:29	↑	9:40	↑	↓	12:13	↑	12:24	↑	東城出荷場前	↓	15:04	↑	15:32	↑	↓	17:57	↑	18:08						
京奈和自動車道高架下	↓	9:26	↑	9:43	↑	↓	12:10	↑	12:27	↑	京奈和自動車道高架下	↓	15:01	↑	15:35	↑	↓	17:54	↑	18:11						
スーパーおくやま前	↓	9:23	↑	9:46	↑	10:35	↑	11:18	12:07	12:30	↑	スーパーおくやま前	↓	14:09	↑	14:58	↑	15:38	↑	16:02	↑	16:45	↑	17:51	↑	18:14
結崎駅南口	8:25	9:21	9:48	10:33	11:20	12:05	12:32	13:24	14:11	14:56	15:40	16:00	16:47	17:49	18:16											
結崎北口	8:32	9:19	9:50	10:31	11:22	12:03	12:34	13:22	14:13	14:54	15:47	15:58	16:49	17:47	18:18											
川西診療所前	8:33	9:18	9:51	10:30	11:23	12:02	12:35	13:16	14:14	14:53	15:48	15:57	16:50	17:41	18:19											
川西小学校東口	8:34	9:17	9:52	10:29	11:24	12:01	12:36	13:15	14:15	14:52	15:49	15:56	16:51	17:40	18:20											
川西町役場前	8:39	9:15	9:57	10:27	11:29	11:59	12:41	13:13	14:20	14:50	15:51	→	15:54	16:56	17:38	18:22										
井戸	8:41	9:10	9:59	10:22	11:31	11:54	12:43	13:08	14:22	14:45	15:54	→	15:54	16:56	17:38	18:22										
西人権センター前	8:42	9:09	10:00	10:21	11:32	11:53	12:44	13:07	14:23	14:44	15:54	→	15:54	16:56	17:38	18:22										
川西郵便局前	8:43	9:08	10:01	10:20	11:33	11:52	12:45	13:06	14:24	14:43	15:54	→	15:54	16:56	17:38	18:22										
唐院東口	8:44	9:07	10:02	10:19	11:34	11:51	12:46	13:05	14:25	14:42	15:54	→	15:54	16:56	17:38	18:22										
唐院南口	8:45	9:06	10:03	10:18	11:35	11:50	12:47	13:04	14:26	14:41	15:54	→	15:54	16:56	17:38	18:22										
唐院住宅前	8:46	9:05	10:04	10:17	11:36	11:49	12:48	13:03	14:27	14:40	15:54	→	15:54	16:56	17:38	18:22										
ふれあいセンター前	8:47	9:04	10:05	10:16	11:37	11:48	12:49	13:02	14:28	14:39	15:54	→	15:54	16:56	17:38	18:22										
保田公民館前	8:51	9:00	10:09	→	10:12	11:41	→	11:44	12:53	→	保田公民館前	14:32	→	14:35	17:08	→	17:23	-								


④運行時間帯の見直し (始発時間)

③利用者の少ない午後便の見直し

④運行時間帯の見直し (終バス時間)

図 コミュニティバス再編の方向性

施策② コミュニティバス等を利用することが困難な人に対する移動支援

施策内容	<p>【施策実施の必要性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスを利用したくても利用することが困難な人が一定数存在しますが、コミュニティバスによる移動の支援には限界があり、こうした方々も移動しやすい環境を整えていく必要があります。 <p>【施策の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス等を利用することが困難な人の外出を支援するため、タクシーの有効活用について検討し、準備が整い次第実施します。 				
実施主体	川西町、タクシー事業者				
スケジュール (年度)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
	 検討・準備が整い次第実施				

【参考】 周辺市町におけるタクシーの有効活用方策の状況

自治体	内容	対象者	利用制限	補助の内容
三宅町	タクシー利用補助	<ul style="list-style-type: none"> ・以下のいずれかを満たす 1. 町内在住 65 歳以上で、下記のいずれかに該当 ・運転免許を持っていない ・自動車を所有していない ・病気等により 2 カ月以上継続して運転不可（要証明書） 2. 出産予定がある（母子手帳交付） 	<ul style="list-style-type: none"> ・乗降場所のいずれかが三宅町内 	<ul style="list-style-type: none"> ・1 回の乗車につき、500 円を補助 ・1 回 1 枚のみ使用可能。補助金額を超える金額は自己負担。 ・年間最大 48 枚を補助
田原本町	タクシー利用補助	<ul style="list-style-type: none"> ・以下のいずれかを満たす 1. 70 歳以上 2. 身体障がい者手帳 1 または 2 級 3. 療育手帳 A1 または A2 4. 病気等により 2 カ月以上継続して運転不可（要証明書） 5. 出産予定がある（母子手帳交付） 6. 就学前児童 	<ul style="list-style-type: none"> ・乗降場所のいずれかが田原本町内 	<ul style="list-style-type: none"> ・1 回の乗車につき、初乗り運賃分を補助 ・年間交付枚数（最大） 1, 5, 6 : 24 枚 2, 3, 4 : 12 枚
安塔町	タクシー利用補助	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスが運行していない地域（安塔保育園南側道路から北側の地域、笠目地域）の町民 	<ul style="list-style-type: none"> ・対象地域と町内公共施設・鉄道駅・バス停の間に限る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1 回の乗車につき、500 円を補助 ・枚数上限なし

8-2 基本方針2に関する施策

基本方針2「地域公共交通を利用したくなる環境づくり」に関して、以下の2つの施策を設定します。

施策③ 公共交通に関する情報提供の充実

施策内容	<p>【施策実施の必要性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス再編等によりサービスが変わるタイミングで、これまでの公共交通利用者が離れないよう留意する必要があります。 ・運転免許の自主返納を促すために、免許返納後も自家用車に頼らなくても生活ができることを認識してもらうよう取組んでいく必要があります。 <p>【施策の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス再編時に新しい運行ルート・ダイヤ・停留所等の各種情報について、広報誌、チラシ、町ホームページ・SNS等により周知を行うとともに、より使いやすくするための支援（「マイ時刻表」（利用者個人専用の時刻表）作成サポート、標準的なバス情報フォーマットへの対応等）を行います。 ・運転免許返納者に対する支援（コミュニティバスの利用料減免等）を行います。 ・鉄道のダイヤ改正にあわせて、鉄道事業者より事前に情報提供いただき、結崎駅の鉄道とコミュニティバスの乗継ぎ調整を実施します。 				
実施主体	川西町、奈良県、鉄道事業者、バス事業者				
スケジュール (年度)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
	→	→			
	検討・準備	コミバス再編時（実証運行）にあわせて実施・継続			

【「マイ時刻表」の作成お手伝いの実施事例】

○大分県豊後高田市

あなた専用の「マイ時刻表」をお作りします

《マイ時刻表の例》

便利な「マイ時刻表」を作いませんか？

公共交通機関を使いたいけど、乗り継ぎや時刻を調べるのが大変・・・という声にお応えし、個人の目的に合わせた、オリジナルの「マイ時刻表」を無料で作成します。

目的地までの、路線バスや乗合タクシーの時刻や乗る場所などを記載したものです。

見やすいA4サイズに加え、ワクチン接種などで通院する際に携帯しやすいよう、おくすり手帳に挟めるサイズもあわせてお作りします。



路線バス



市民乗合タクシー

たかだ はなこ 様のマイ時刻表 (犬田 ~ 花いろ温泉)			
行くとき			
大交北部バス(伊美行き)			
乗るところ	犬田	11:10	
降りるところ	豊後高田市役所	11:22	
(乗り換え)			
	市民乗合タクシー	上野線 (平日)	熊野線 (平日)
乗るところ	市役所	11:44	11:44
降りるところ	花いろ	11:53	11:53
帰るとき			
	市民乗合タクシー	上野線 (月・木)	熊野線 (水・金)
乗るところ	花いろ	12:58	13:04
降りるところ	市役所	13:07	13:13
(乗り換え)			
大交北部バス(宇佐駅行き)			
乗るところ	豊後高田市役所	13:32	
降りるところ	犬田	13:40	

出典：豊後高田市ホームページ

施策④ まちづくりと連携した利用促進策の企画・実施

施策内容	<p>【施策の必要性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共交通を利用しやすい環境を整えるとともに、新型コロナによって減少した外出や公共交通の利用頻度を増やし、持続可能な公共交通を目指していく必要があります。 <p>【施策の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種イベント・行事等と連携し、コミバスの利用促進策を実施します。 バス路線沿道施設の敷地内にベンチやバス待ちスペースを設けるなど、バス待ち環境の改善を検討します。 大和平野中央プロジェクトの推進や大和まほろば広域定住自立圏の形成に向けた動きを踏まえ、周辺市町との連携・情報共有を図ります。 				
実施主体	川西町、奈良県、商業施設・店舗等				
スケジュール (年度)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
	検討・準備	コミバス再編時（実証運行）にあわせて実施			

【地域公共交通と沿道施設の連携事例】

○歩道のないバス停におけるバス待ち空間確保

・東京都江戸川区の事例



・神奈川県厚木市の事例



出典：国土交通省資料

○ベンチの寄附制度

大津市では、個人・団体・企業等からベンチ設置費用の一部（1基あたり8～15万円程度）の寄附を募集。寄附を頂いた後、ベンチは市が設置および設置後の維持管理を行う。ベンチには寄付者の名前の入ったプレートを設置できる。



○沿道施設敷地内のバス待ちスペース

・京都市の事例（コンビニエンスストアとの連携による「バスの駅」の設置）



出典：京都市交通局HP

9. 計画の進捗管理

本計画は、計画の策定（Plan）、事業の実施（Do）、評価・検証（Check）、改善策の検討・計画の見直し（Action）といったPDCAサイクルにより、効果的に施策を推進し、よりよい地域公共交通の実現に向けて常にバージョンアップを図っていきます。

また、計画に基づき実施した施策の効果や計画で定めた目標値の最新の状況を把握し、必要に応じ適宜計画の見直しを行います。計画期間最終年度においては、最終的な目標達成状況を評価・検証し、次期計画を見据えた検討を行います。

なお、計画の進捗管理は川西町地域公共交通会議にて行いますが、計画を着実に遂行するためには、川西町や交通事業者だけではなく、町民等も含めた全ての関係者がそれぞれの役割を担い、本計画全体を推進して行く必要があります。各関係者が担うべき基本的な役割は下に示すとおりです。

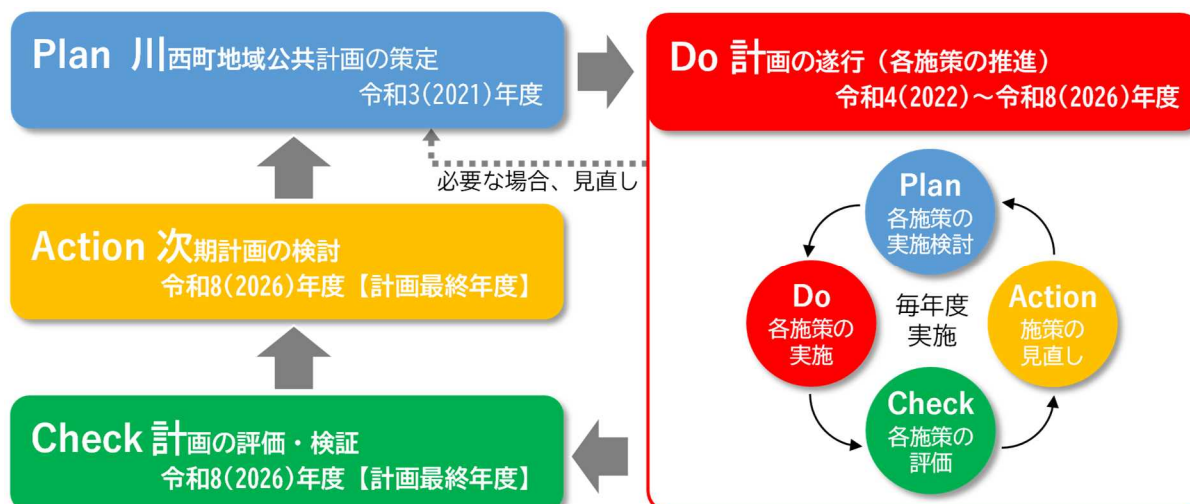


図 計画のPDCAサイクルのイメージ

表 各関係者の基本的な役割

関係者	基本的な役割
行政	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて見直し・改善を図りながら、コミュニティバスを維持する。 ・コミュニティバスを利用することが困難な町民の移動を支援する。 ・地域公共交通に関する積極的な情報提供を図り、利用を促進する。
交通事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通の担い手として、安全で快適なサービスを提供する。
町民・関係団体 (自治会、商業施設・店舗等)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通に関心をもち、自ら積極的に地域公共交通を利用する。 ・地域公共交通を利用して地域や施設を訪れたくなる取組に協力する。



川西町地域公共交通計画（素案）

発行年月日：令和4（2022）年2月時点

編集・発行：川西町総合政策課

〒636-0202 奈良県磯城郡川西町大字結崎 28 番地の 1
